

【兵庫県立大学姫路工学キャンパス土壌汚染状況調査業務】

兵庫県立大学
姫路工学キャンパス

深度調査(工事範囲 3)

報 告 書

令和 8 年 3 月

エヌエス環境株式会社 大阪支社
(指定調査機関 指定番号 2003-8-3007 号)

目 次

	頁
1. 調査概要	1
1.1 調査名	1
1.2 調査目的	1
1.3 発注者	1
1.4 調査期間	1
1.5 調査対象地	1
1.6 関係法令等	9
1.7 調査実施機関	9
2. 深度調査(その1)	10
2.1 調査概要	10
2.2 調査対象物質	10
2.3 調査方法	10
2.4 調査結果	21
3. 深度調査(その2 深度絞込)	27
3.1 調査概要	27
3.2 調査方法	27
3.3 調査結果	29
4. 調査数量	35
5. まとめ	36

【巻末資料】

- 深度調査(その1)
 - 1. 計量証明書
 - 2. 試料採取記録
 - 3. 現地記録写真
 - 4. 柱状図
- 深度調査(その2)
 - 5. 計量証明書
 - 6. 試料採取記録
- その他
 - 7. KBM 位置図

1. 調査概要

1.1 調査名

兵庫県立大学 姫路工学キャンパス
深度調査(工事範囲 3)

1.2 調査目的

兵庫県立大学姫路工学キャンパスの工事範囲 3 では、令和 7 年 10 月に土地の形質変更を目的として、「兵庫県立大学 姫路工学キャンパス土壤汚染状況調査（工事範囲 3）」（以下、「既往土壤調査」という）が実施されており、「砒素及びその化合物」「ふっ素及びその化合物」の土壤溶出量で基準不適合が確認されている。

既往土壤調査では、基準不適合土壤の存在する範囲を単位区画毎で平面的に評価しているものの、汚染の到達深度のような鉛直的な評価は行われていない。汚染到達深度は、当範囲で形質変更を実施する際や浄化工事を実施する際の工事計画策定に必要な情報である。

本調査では、基準不適合が確認されている単位区画においてボーリングを用いた深度調査を実施し、汚染到達深度を評価することを目的とした。

1.3 発注者

兵庫県総務部教育課

1.4 調査期間

自) 2026 年 2 月 18 日
至) 2026 年 3 月 26 日

1.5 調査対象地

調査対象地の概要を表 1-1 に、兵庫県立大学姫路工学キャンパスの位置図を図 1-1 に、本調査の調査対象範囲を図 1-2 に示す。また、既往調査にて基準不適合が確認されている範囲を図 1-3～図 1-4 に示す。

表 1-1 調査対象地概要

項目	内容
工場・事業所名称	兵庫県立大学 姫路工学キャンパス
所在地 (地番)	【姫路工学キャンパス】 姫路市書写字西ノ口 2167 番他全 25 筆 【調査対象地】 姫路市書写字北垣内 2125 番 2 の一部
面積	【姫路工学キャンパス】 118,650.43m ² 【調査対象地*】 6,937.15m ²

※ 調査対象地の面積はCAD図面より算出

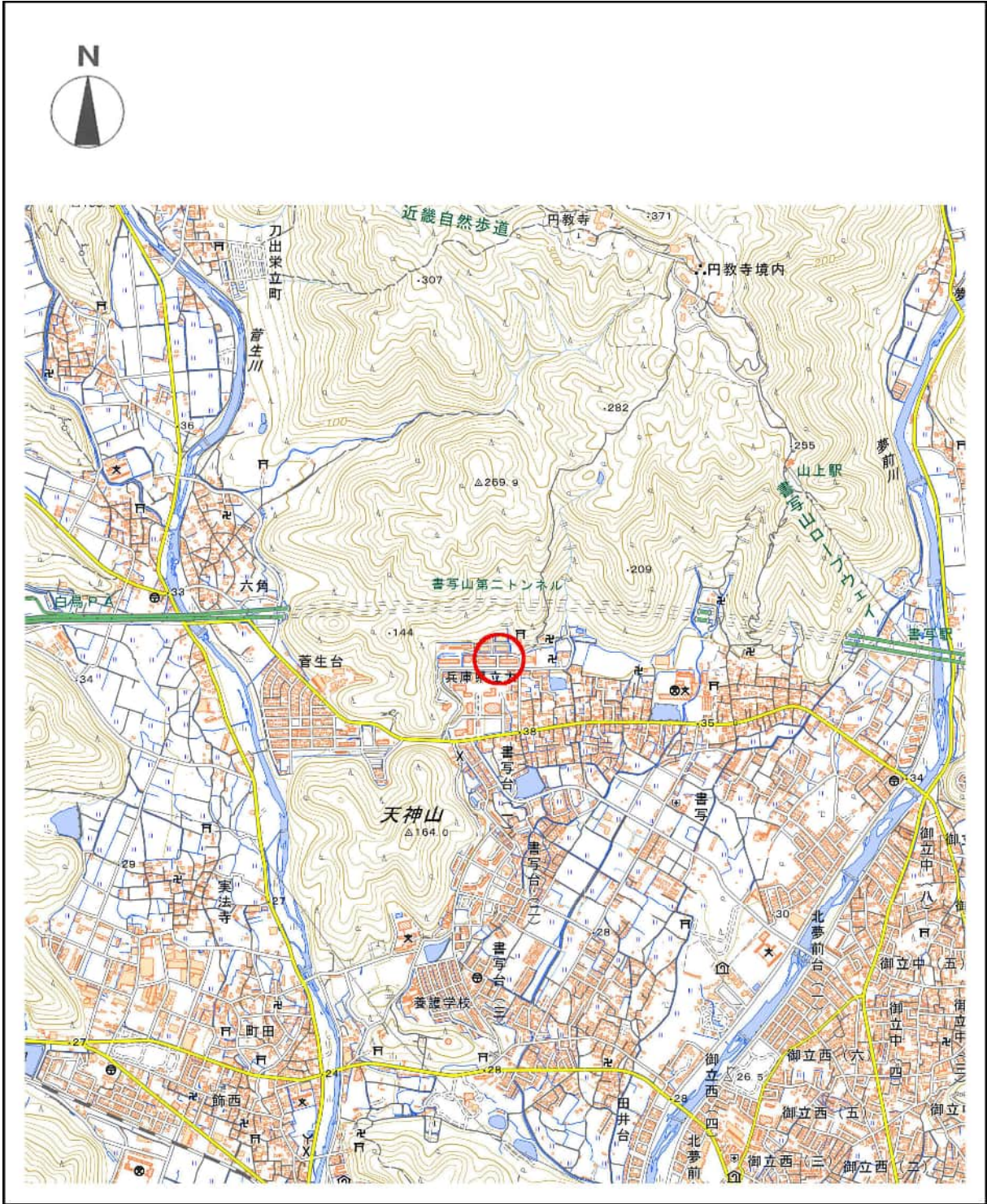


図 1-1 調査対象地の広域図

地理院地図（国土地理院）(<http://maps.gsi.go.jp/>) に加筆

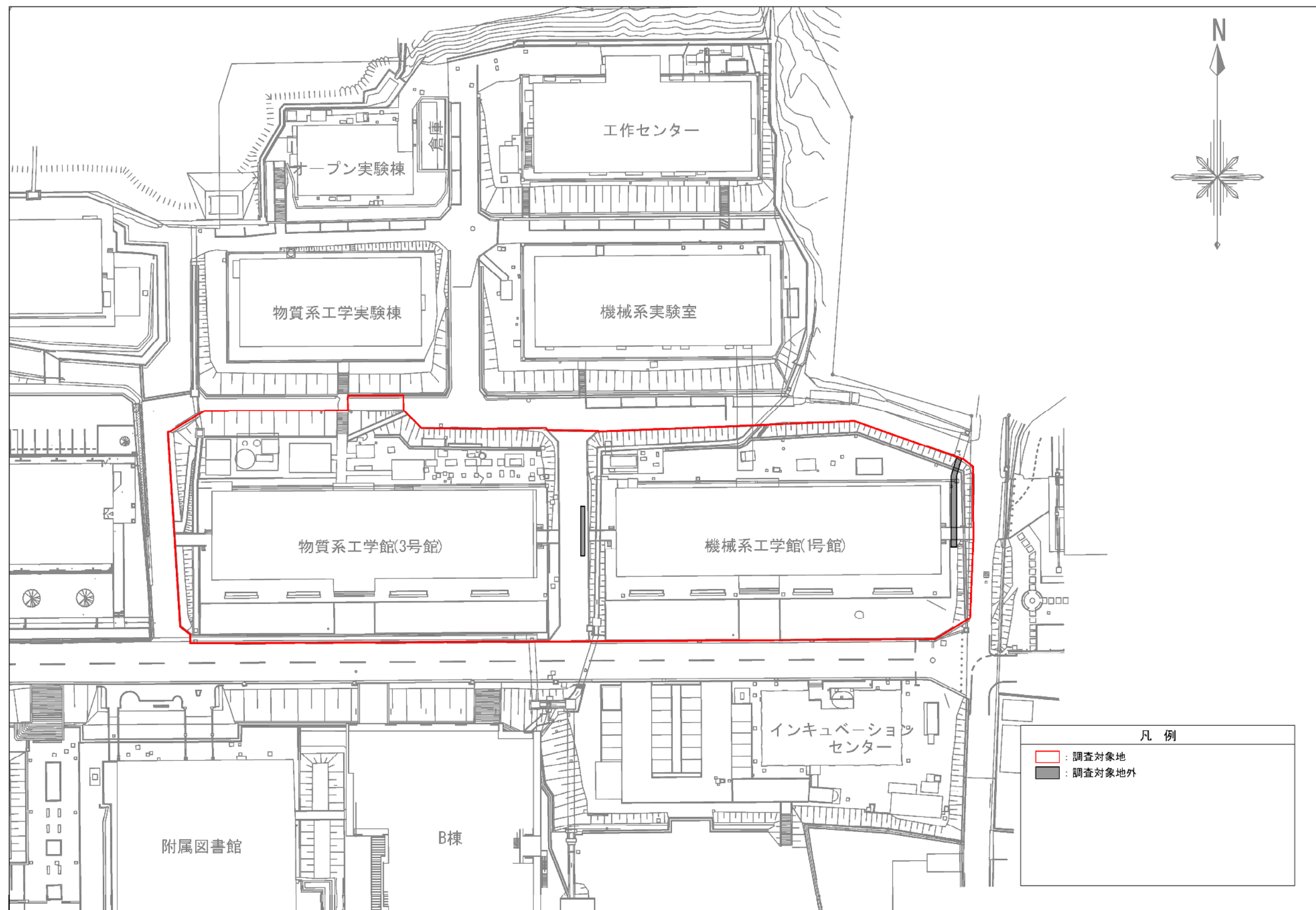


図 1-2 調査対象地の詳細図

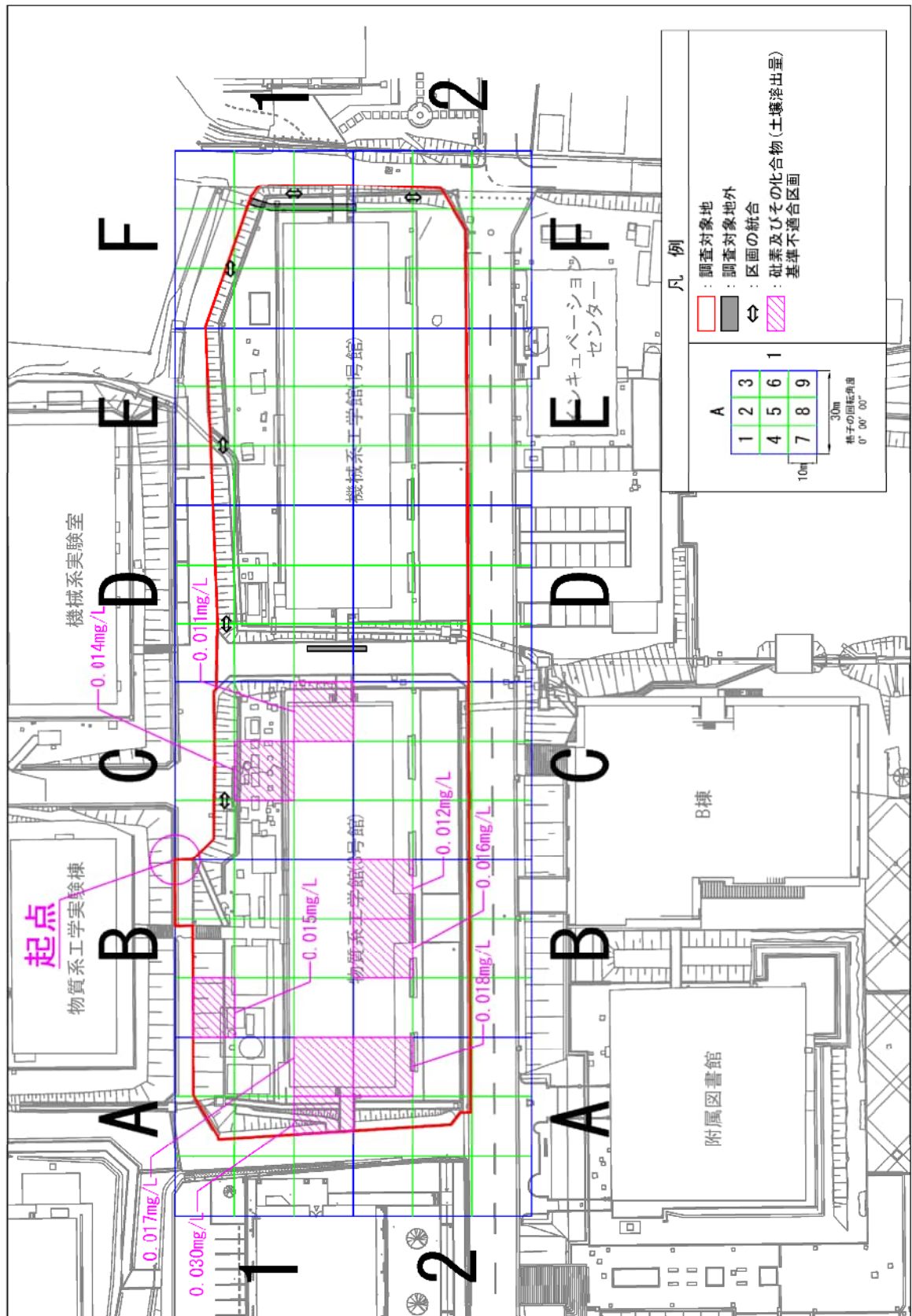


図 1-3 (1) 基準不適合範囲(砒素及びその化合物 土壤溶出量)

汚染の生じた場所の位置：地上部

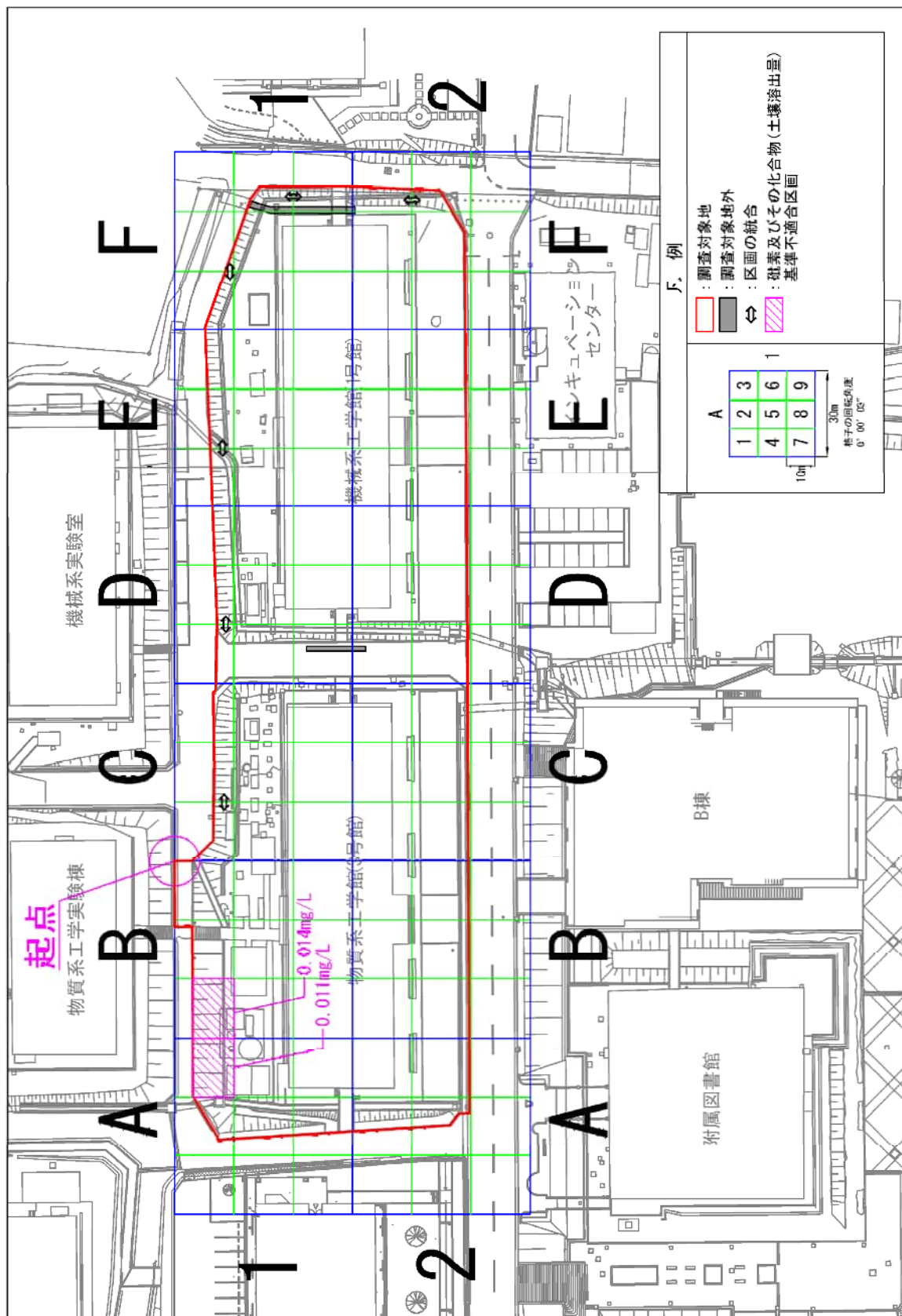


図 1-3 (2) 基準不適合範囲(砒素及びその化合物 土壤溶出量)

汚染の生じた場所の位置：地下部

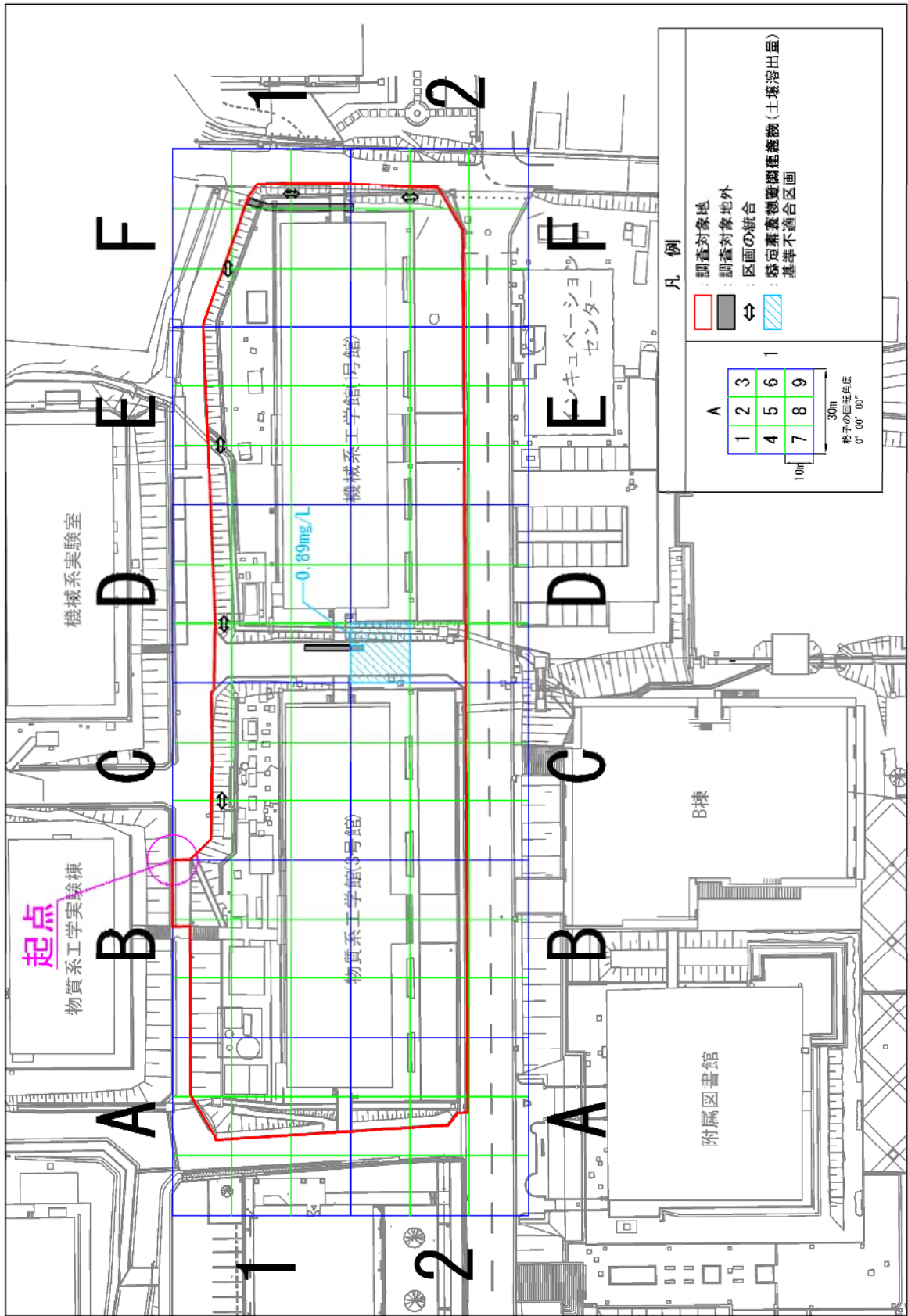


図 1-4 (1) 基準不適合範囲(ふっ素及びその化合物 土壌溶出量)

汚染の生じた場所の位置：地上部

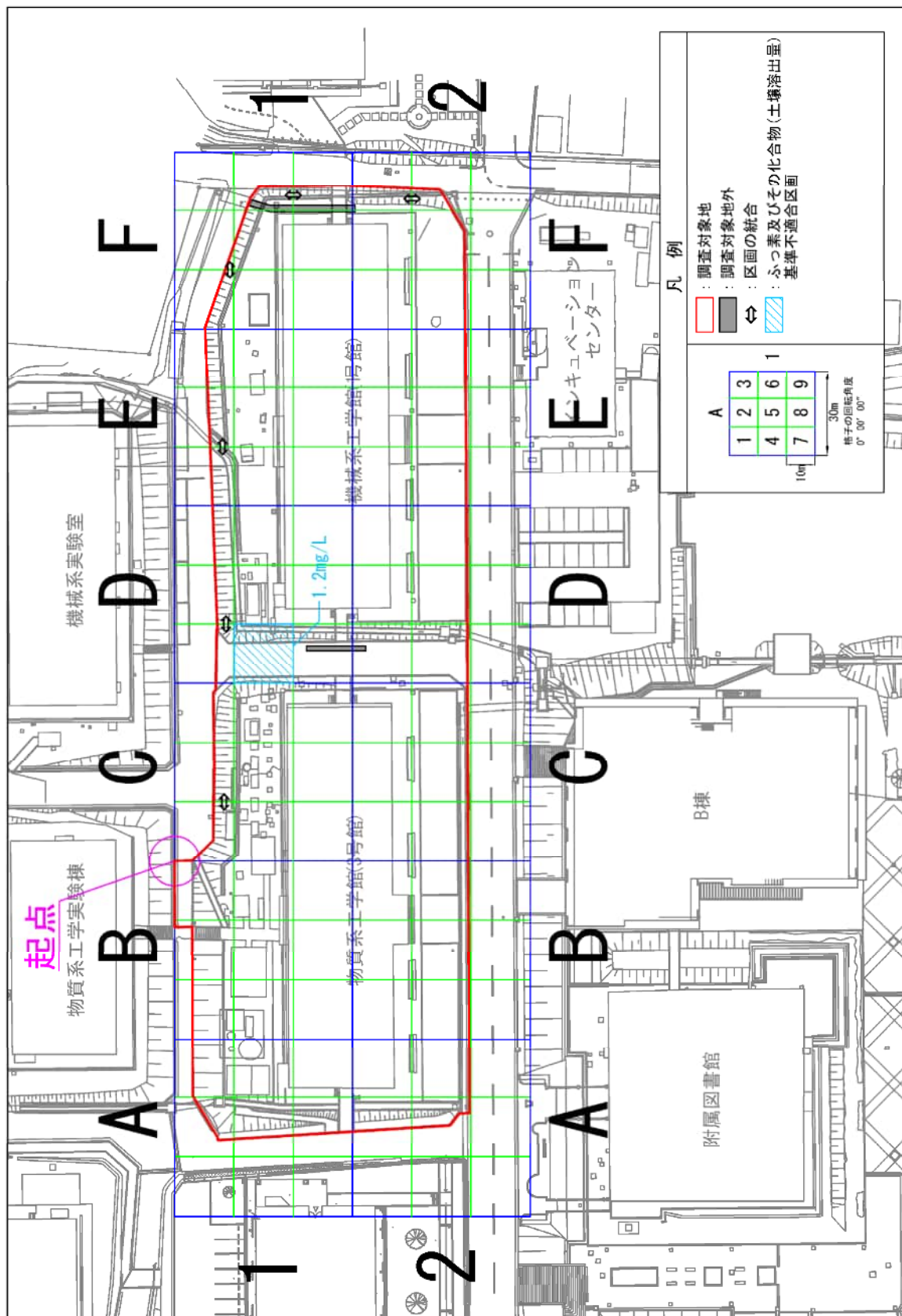


図 1-4 (2) 基準不適合範囲(ふっ素及びその化合物 土壌溶出量)

汚染の生じた場所の位置：地下部

1.6 関係法令等

本調査は、土壌汚染対策法及びそれらの関係法令等（表 1-2 参照）で定める方法に準拠して実施した。

表 1-2 関係法令等

法令等	略称
土壌汚染対策法（平成 14 年 5 月 29 日 法律第 53 号）	法
土壌汚染対策法の一部を改正する法律（平成 21 年 4 月 24 日 法律第 23 号）	
土壌汚染対策法の一部を改正する法律（平成 29 年 5 月 19 日 法律第 33 号）	
土壌汚染対策法施行令（平成 14 年 11 月 13 日 政令第 336 号）	令
土壌汚染対策法施行規則（平成 14 年 12 月 26 日 環境省令第 29 号）	規則
土壌汚染対策法に基づく調査及び措置に関するガイドライン改訂第 3.1 版 （令和 4 年 8 月 環境省 水・大気環境局 土壌環境課）	ガイドライン

1.7 調査実施機関

指定調査機関：エヌエス環境株式会社 大阪支社

住 所：大阪府吹田市垂水町 2-36-27

技術管理者：岸岡 稚青

交付番号：第 0001289 号

電話番号：06-6310-6222

指定番号：2003-8-3007 号

2. 深度調査(その1)

2.1 調査概要

本調査では、既往土壌調査により基準不適合が確認された単位区画 11 区画を対象にボーリングを用いた深度調査を実施し、汚染到達深度及び地下水汚染の有無を把握した。

2.2 調査対象物質

調査対象物質は「砒素及びその化合物」「ふっ素及びその化合物」とし、土壌に関しては基準不適合が確認されている土壌溶出量とした。

2.3 調査方法

2.3.1 単位区画の設定

土壌汚染対策法施行規則第 4 条に基づき、対象地の敷地最北端(真北)を起点として、東西方向及び南北方向に 10m 間隔で引いた線により区画(以下「単位区画」という)分けを行い、この線に平行に 30m 間隔で引いた線により分割された部分(以下「30m 格子」という)に区画分けを行う。また、隣接する単位区画の合計面積が 130m^2 を超えない範囲で、併せた部分を区画する線に垂直に投影した長さ 20m 以下の場合、適宜 1 つの単位区画に統合した(図 2-1)。統合した単位区画及び単位区画面積が 100m^2 に満たない単位区画の一覧を表 2-1 に、単位区画の設定図面を図 2-2 に示す。本調査で設定した単位区画は、既往土壌調査と同様である。

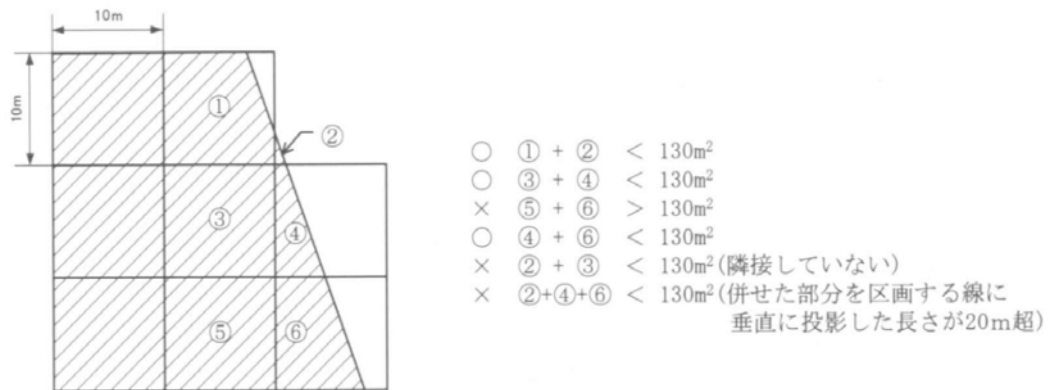


図 2-1 単位区画の設定

表 2-1 (1) 統合単位区画及び 100m² 未満の単位区画一覧

単位区画	区画面積 (m ²)	統合後面積 (m ²)	統合後区画名
A1-2	33.62	-	-
A1-3	69.48	-	-
A1-5	67.70	-	-
A1-8	61.38	-	-
A2-2	55.05	-	-
A2-5	42.83	-	-
A2-6	97.20	-	-
B1-1	69.83	-	-
B1-2	73.59	-	-
B1-3	99.83	-	-
B2-4	96.73	-	-
B2-5	96.26	-	-
B2-6	95.78	-	-
C1-1	41.22	75.06	C1-1
C1-2	33.84		
C1-3	34.05	-	-
C2-4	95.31	-	-
C2-5	94.84	-	-
C2-6	94.36	-	-
D1-1	29.80	60.08	D1-2
D1-2	30.28		
D1-3	34.23	-	-
D1-7	93.79	-	-
D2-1	98.20	-	-
D2-4	94.03	-	-
D2-5	93.48	-	-
D2-6	92.81	-	-
E1-1	38.18	80.44	E1-2
E1-2	42.26		
E1-3	46.45	-	-
E2-4	92.14	-	-
E2-5	91.47	-	-
E2-6	90.80	-	-

表 2-1 (2) 統合単位区画及び 100m² 未満の単位区画一覧

単位区画	区画面積 (m ²)	統合後面積 (m ²)	統合後区画名
F1-1	32.27	35.36	F1-1
F1-2	3.09		
F1-5	92.78	-	-
F1-6	22.18	55.60	F1-9
F1-9	33.42		
F1-8	97.06	-	-
F2-2	99.87	-	-
F2-3	38.79	59.67	F2-3
F2-6	20.88		
F2-4	90.13	-	-
F2-5	85.89	-	-

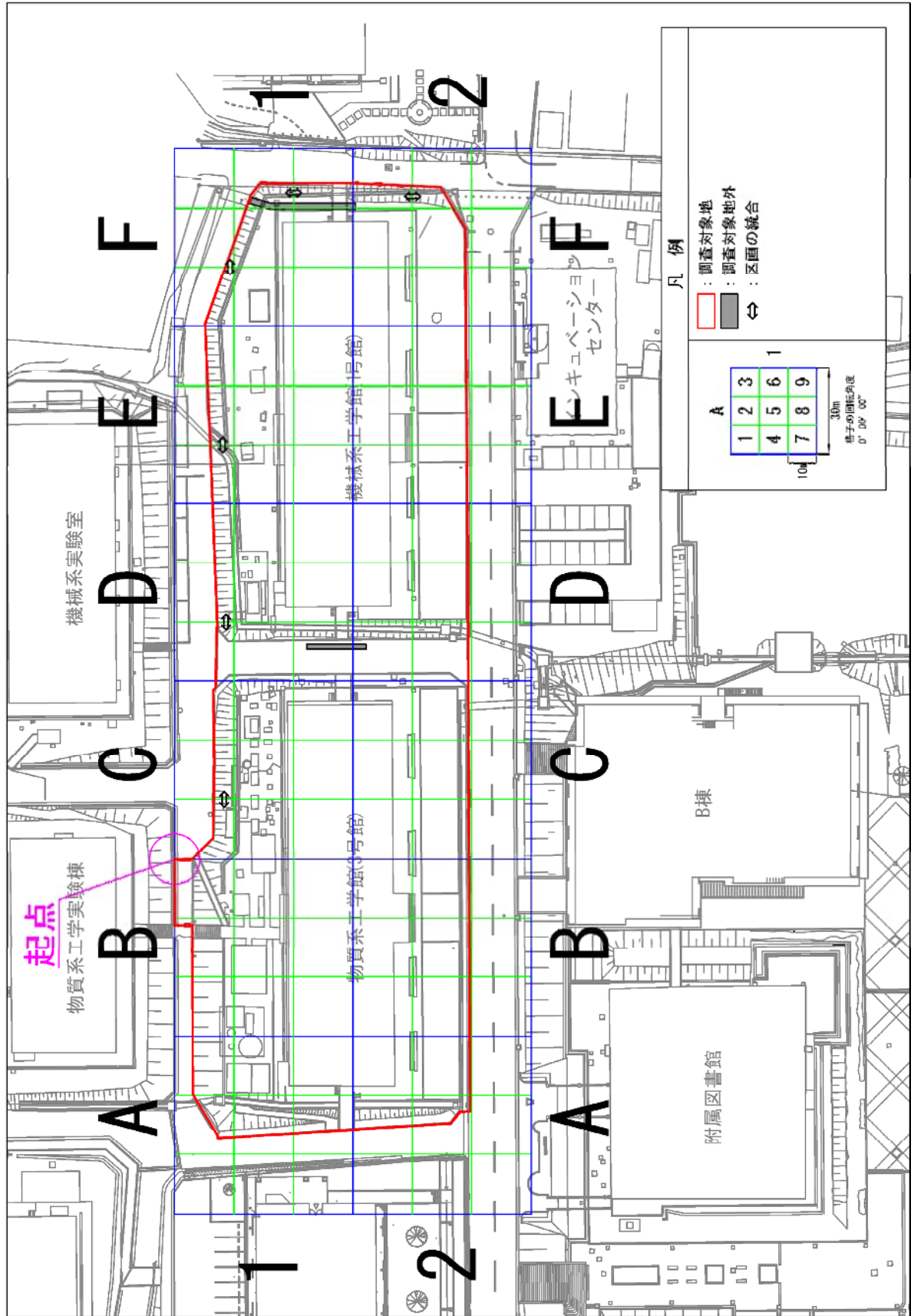


図 2-2 単位区画の設定図面

2.3.2 調査地点の設定

調査地点は、既往土壌調査で基準不適合となった単位区画 11 区画(砒素及びその化合物：9 区画、ふっ素及びその化合物：2 区画)を対象とした。試料採取地点は、基本、既往土壌調査と同様としているものの、A1-3b 及び C1-5b の 2 地点に関してはボーリングマシンの設置が不可能であったため、場所の変更を実施している。

設定した試料採取地点の位置図を調査対象物質及び汚染の生じた場所の位置別に図 2-3～図 2-4 に示す。

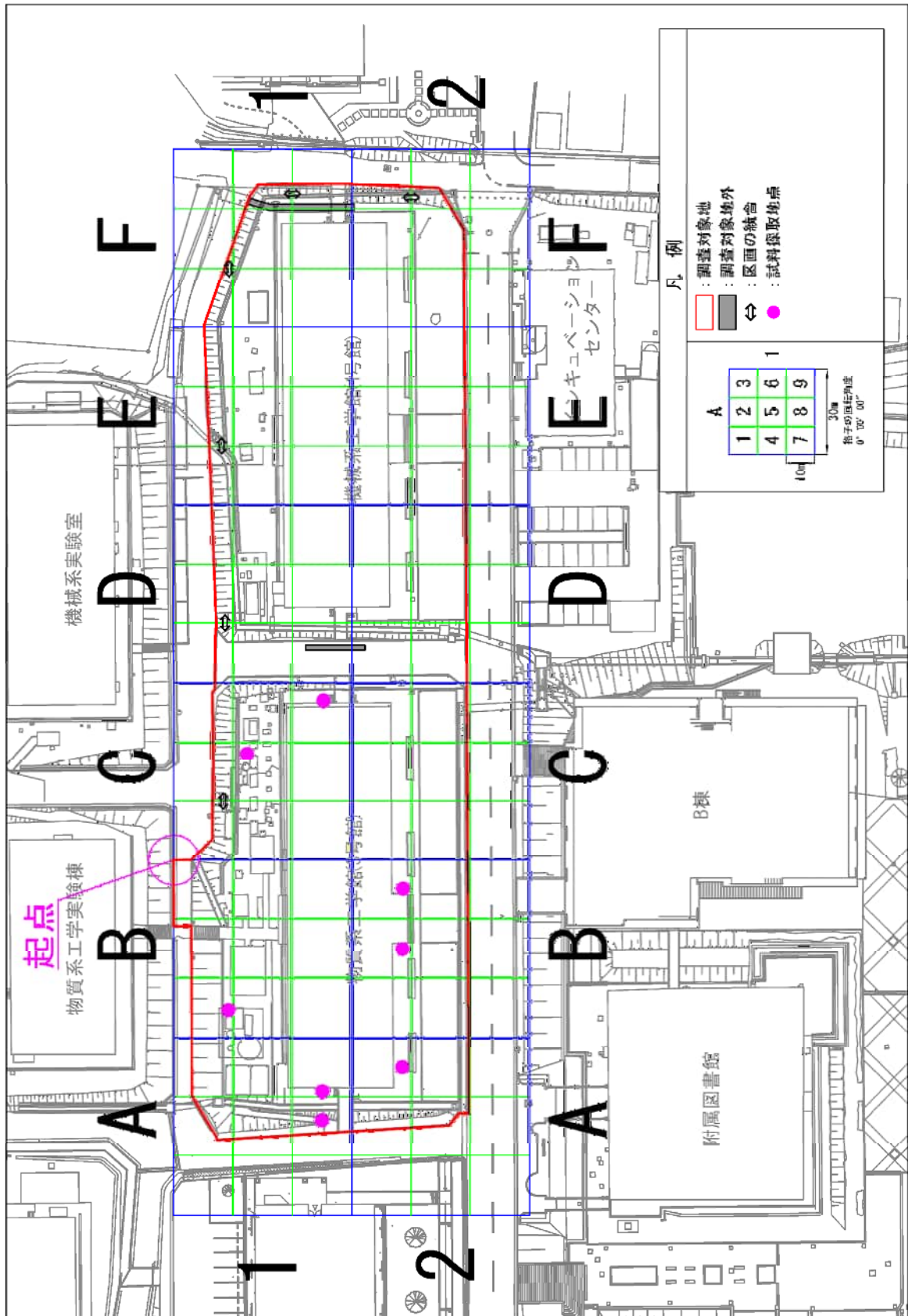


図 2-3 (1) 試料採取地点の位置図 (砒素及びその化合物 土壤溶出量・地下水)

汚染の生じた場所の位置：地上部

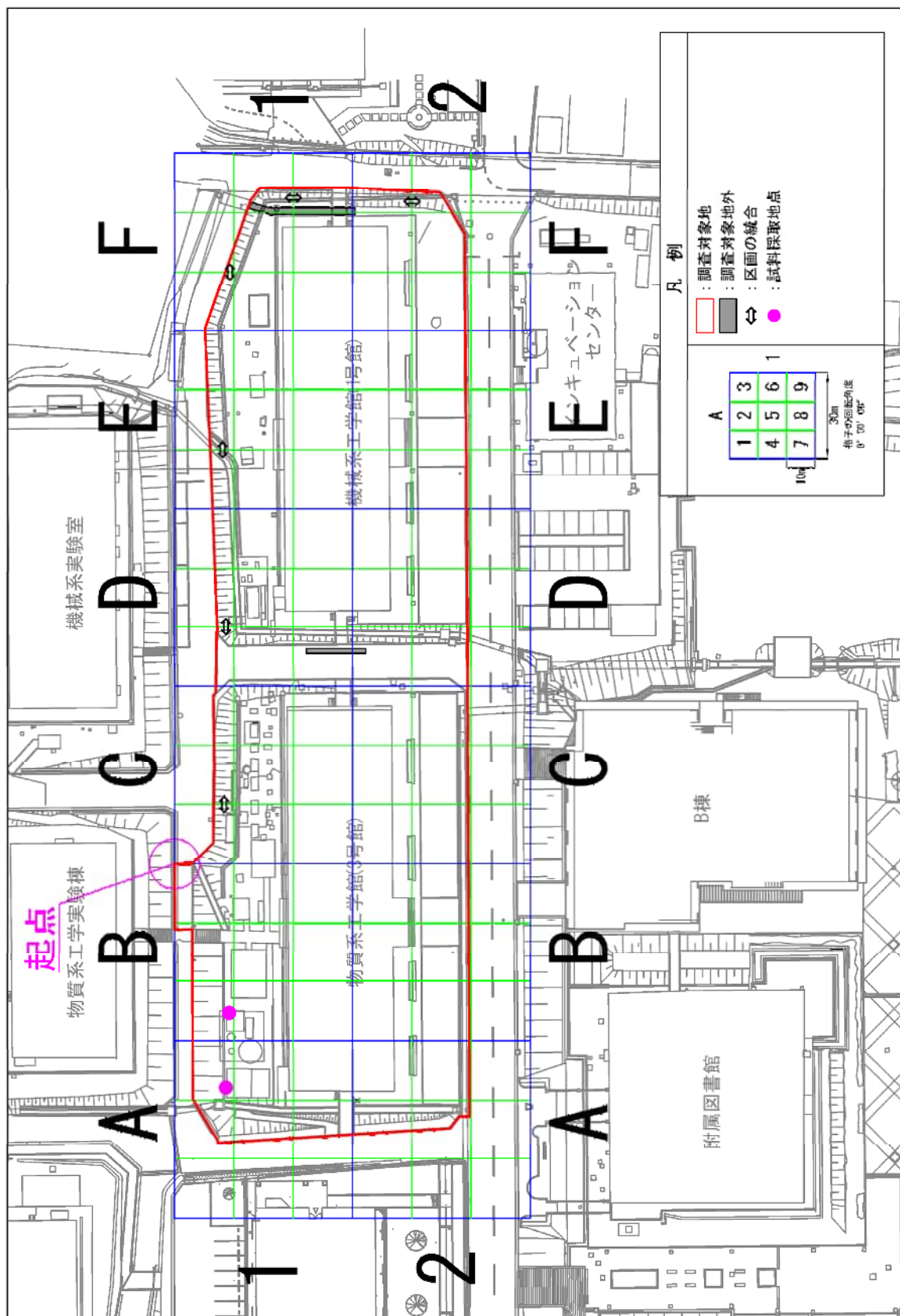


図 2-3 (2) 試料採取地点の位置図 (砒素及びその化合物 土壤溶出量・地下水)

汚染の生じた場所の位置：地下部

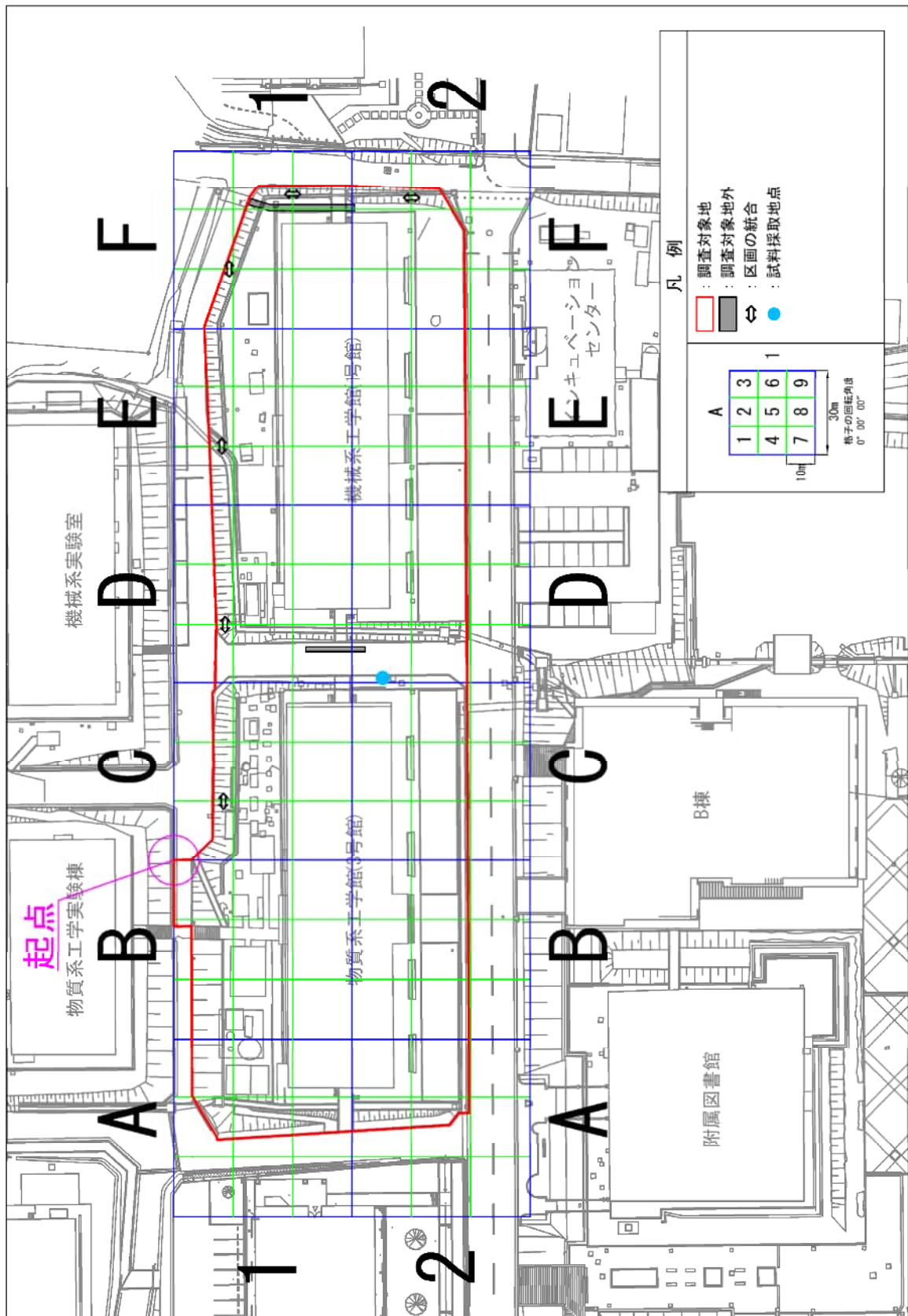


図 2-4 (1) 試料採取地点の位置図 (ふっ素及びその化合物 土壌溶出量・地下水)

汚染の生じた場所の位置：地上部

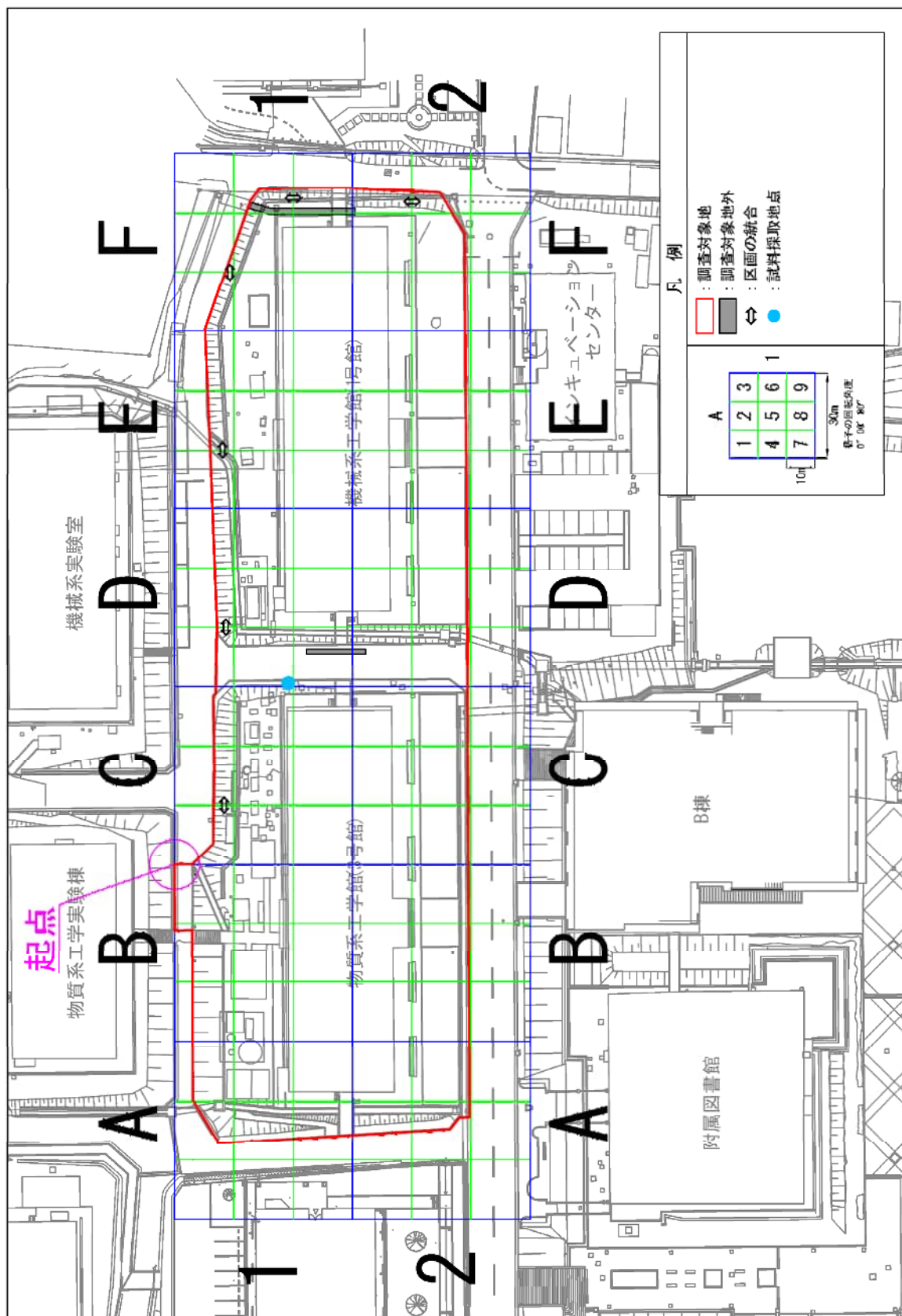


図 2-4 (2) 試料採取地点の位置図 (ふっ素及びその化合物 土壌溶出量・地下水)

汚染の生じた場所の位置：地下部

2.3.3 試料採取方法

試料採取は、移動式ボーリングマシンを用いて、10mまでボーリング掘削を行い、掘削したボーリングコアから、1m毎で土壌を採取するものとするが、本調査では10.00mまでの掘削中に岩盤への到達が想定されるため、掘削は岩盤が確認できるまでの深度とし、岩盤直上の土壌に関しても採取するものとした。また、ボーリングにより地下水位が確認された場合は、地下水に関しても採取を実施することとした。

ただし、調査地点にアスファルト等の被覆がある場合には、コアカッターにより被覆及び被覆下の碎石等を取り除いた後、取り除いた土壌表面を基準面とし、10mまでもしくは、岩盤が確認できる深度までボーリング掘削を実施するものとする。

土壌採取に使用する機器を図 2-5 に、各地点の試料採取深度を表 2-2 に示す。



図 2-5 土壌採取に用いる機器

(左図：コアカッター 右図：移動式ボーリングマシン)

表 2-2 調査地点における試料採取深度

調査地点	被覆厚 (m)	既往土壌調査			試料採取深度
		汚染の生じた場所の位置	基準不適合深度		
			基準面下 m	GL m	
A1-3b	0.00	地下部	-0.60	-0.60	基準面下-1.00m, 2.00m… (1m毎)、岩盤直上
A1-8b	0.25	地上部	-0.50	-0.75	基準面下-1.00m, 2.00m… (1m毎)、岩盤直上
A1-9b	0.30	地上部	-0.50	-0.80	基準面下-1.00m, 2.00m… (1m毎)、岩盤直上
A2-3b	0.25	地上部	-0.50	-0.75	基準面下-1.00m, 2.00m… (1m毎)、岩盤直上
B1-1b	0.00	地上部	-0.50	-0.50	基準面下-1.00m, 2.00m… (1m毎)、岩盤直上
		地下部	-0.60	-0.60	
B2-2b	0.25	地上部	-0.50	-0.75	基準面下-1.00m, 2.00m… (1m毎)、岩盤直上
B2-3b	0.30	地上部	-0.50	-0.80	基準面下-1.00m, 2.00m… (1m毎)、岩盤直上
C1-5b	0.00	地上部	-0.50	-0.50	基準面下-1.00m, 2.00m… (1m毎)、岩盤直上
C1-9b	0.35	地上部	-0.50	-0.85	基準面下-1.00m, 2.00m… (1m毎)、岩盤直上
D1-4b	0.00	地下部	-2.60	-2.60	基準面下-3.00m, 4.00m… (1m毎)、岩盤直上
D2-1b	0.00	地上部	-0.50	-0.50	基準面下-1.00m, 2.00m… (1m毎)、岩盤直上

2.3.4 分析方法

採取した土壌試料は、告示第 18 号に従い、土壌溶出量試験を実施した。分析は採取した試料の内、地表面に近い深度から開始し、2 深度の基準適合が確認されるまで実施した(図 2-6)。また、地下水を採取した地点に関しては、告示第 17 号に従って、地下水の分析を実施した。

分析の測定方法及び土壌溶出量・地下水基準を表 2-3 に示す。

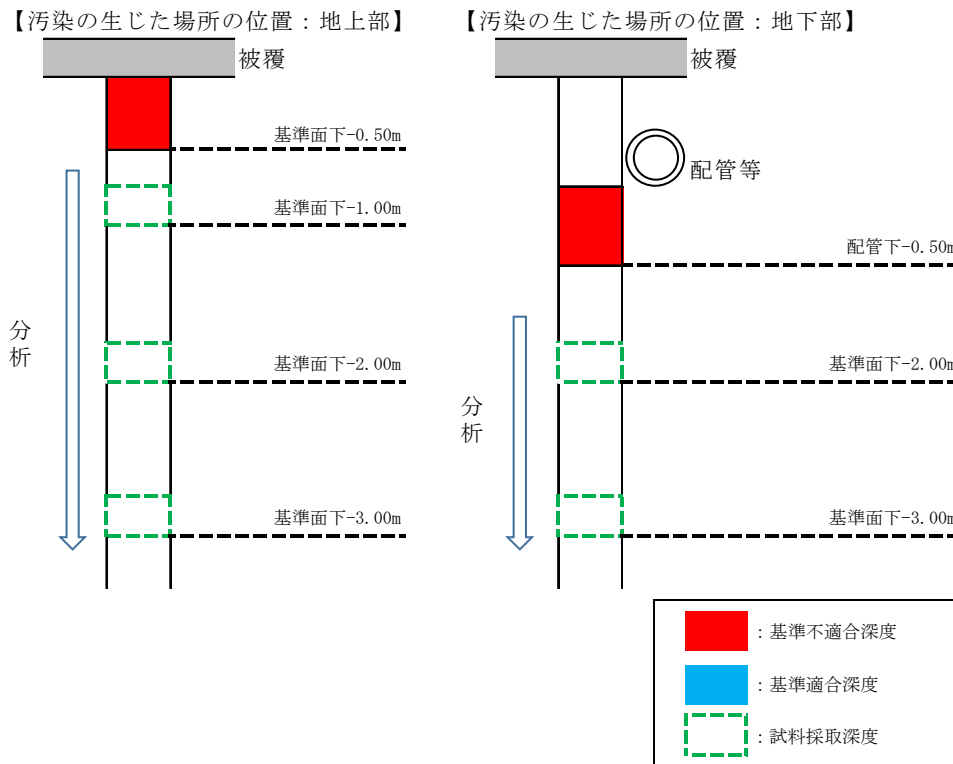


図 2-6 分析実施深度

表 2-3 分析方法及び基準値一覧

【第二種特定有害物質】
溶出量試験（告示第 18 号）・地下水試験（告示第 17 号）

項目	分析方法	単位：mg/L	
		土壌溶出量基準 地下水基準	定量 下限値
砒素及びその化合物	JIS K 0102-3 20.5 (2022)	0.01 以下	0.001
ふっ素及びその化合物	JIS K 0102-2 5.2 及び 5.4 (2022)	0.8 以下	0.08

2.4 調査結果

2.4.1 ボーリング掘削

本調査で実施したボーリング調査の掘削深度を表 2-4 に示す。本調査ではすべての地点で岩盤に到達したことから基準面下から 1m毎の土壌と岩盤直上の試料を採取した。また、すべての調査地点において地下水は確認されなかった

表 2-4 ボーリング調査の掘削深度

調査地点	被覆厚 (m)	掘削深度		土質		地下水
		基準面下 m	GL m	土壌範囲	岩盤範囲	
A1-3b	0.00	-5.00	-5.00	基準面下-0.00~4.70m	基準面下-4.70~5.00m	なし
A1-8b	0.25	-6.00	-6.25	基準面下-0.00~5.30m	基準面下-5.30~6.00m	なし
A1-9b	0.30	-5.00	-5.30	基準面下-0.00~4.65m	基準面下-4.65~5.00m	なし
A2-3b	0.25	-5.00	-5.25	基準面下-0.00~4.60m	基準面下-4.60~5.00m	なし
B1-1b	0.00	-5.00	-5.00	基準面下-0.00~4.30m	基準面下-4.30~5.00m	なし
B2-2b	0.25	-5.00	-5.25	基準面下-0.00~4.60m	基準面下-4.60~5.00m	なし
B2-3b	0.30	-7.00	-7.30	基準面下-0.00~6.70m	基準面下-6.70~7.00m	なし
C1-5b	0.00	-5.00	-5.00	基準面下-0.00~4.70m	基準面下-4.70~5.00m	なし
C1-9b	0.35	-6.00	-6.35	基準面下-0.00~5.55m	基準面下-5.55~6.00m	なし
D1-4b	0.00	-5.00	-5.00	基準面下-0.00~4.50m	基準面下-4.50~5.00m	なし
D2-1b	0.00	-5.00	-5.00	基準面下-0.00~4.80m	基準面下-4.80~5.00m	なし

2.4.2 分析結果

分析結果を表 2-5 に、汚染到達深度の評価図面を図 2-7 に示す。

砒素及びその化合物の土壌溶出量では、基準不適合となった単位区画 9 区画を対象に分析を実施した結果、汚染到達深度が-1.00mとなった区画は 6 区画、-3.00mの区画は 2 区画、2 深度の基準適合が確認できなかった地点は 1 区画であった。2 深度の基準適合が確認できなかった地点(B2-2b)に関しては、岩盤までの深度である-4.60mを汚染到達深度とした。

ふっ素及びその化合物の土壌溶出量では、基準不適合となった単位区画 2 区画を対象に分析を実施した結果、汚染到達深度が-1.00mとなった区画は 1 区画、-3.00mの区画は 1 区画であった。

また、すべての調査地点で地下水は確認されておらず、地下水汚染はないと判断した。

表 2-5 (1) 深度調査の分析結果

調査区画				A1-3b								溶出量基準	定量下限値	
調査深度		基準面下 m	-0.60m (配管下)	-1.00m	-2.00m	-3.00m	-4.00m	-4.70m	-	-	-			-
		GL m	-0.60m (配管下)	-1.00m	-2.00m	-3.00m	-4.00m	-4.70m	-	-	-			-
		KBM m	+2.61m	+2.21m	+1.21m	+0.21m	-0.79m	-1.49m	-	-	-			-
土壌溶出量調査	第二種特定有害物質	砒素及びその化合物	mg/L	0.011	0.003	0.003	-	-	-	-	-	-	0.01以下	0.001
		ふっ素及びその化合物	mg/L	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.8以下

調査区画				A1-8b								溶出量基準	定量下限値	
調査深度		基準面下 m	-0.50m	-1.00m	-2.00m	-3.00m	-4.00m	-5.00m	-5.30m	-	-			-
		GL m	-0.75m	-1.25m	-2.25m	-3.25m	-4.25m	-5.25m	-5.55m	-	-			-
		KBM m	+3.53m	+3.03m	+2.03m	+1.03m	+0.03m	-0.97m	-1.27m	-	-			-
土壌溶出量調査	第二種特定有害物質	砒素及びその化合物	mg/L	0.030	0.003	0.013	0.005	0.003	-	-	-	-	0.01以下	0.001
		ふっ素及びその化合物	mg/L	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.8以下

調査区画				A1-9b								溶出量基準	定量下限値	
調査深度		基準面下 m	-0.50m	-1.00m	-2.00m	-3.00m	-4.00m	-4.65m	-	-	-			-
		GL m	-0.80m	-1.30m	-2.30m	-3.30m	-4.30m	-4.95m	-	-	-			-
		KBM m	+2.45m	+1.95m	+0.95m	-0.05m	-1.05m	-1.70m	-	-	-			-
土壌溶出量調査	第二種特定有害物質	砒素及びその化合物	mg/L	0.017	0.002	0.004	-	-	-	-	-	-	0.01以下	0.001
		ふっ素及びその化合物	mg/L	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.8以下

調査区画				A2-3b								溶出量基準	定量下限値	
調査深度		基準面下 m	-0.50m	-1.00m	-2.00m	-3.00m	-4.00m	-4.60m	-	-	-			-
		GL m	-0.75m	-1.25m	-2.25m	-3.25m	-4.25m	-4.85m	-	-	-			-
		KBM m	+2.45m	+1.95m	+0.95m	-0.05m	-1.05m	-1.65m	-	-	-			-
土壌溶出量調査	第二種特定有害物質	砒素及びその化合物	mg/L	0.018	0.003	0.003	-	-	-	-	-	-	0.01以下	0.001
		ふっ素及びその化合物	mg/L	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.8以下

調査区画				B1-1b								溶出量基準	定量下限値	
調査深度		基準面下 m	-0.50m	-0.60m (配管下)	-1.00m	-2.00m	-3.00m	-4.00m	-4.30m	-	-			-
		GL m	-0.50m	-0.60m (配管下)	-1.00m	-2.00m	-3.00m	-4.00m	-4.30m	-	-			-
		KBM m	+2.79m	+2.69m	+2.29m	+1.29m	+0.29m	-0.71m	-1.01m	-	-			-
土壌溶出量調査	第二種特定有害物質	砒素及びその化合物	mg/L	0.015	0.014	0.001未満	0.007	-	-	-	-	-	0.01以下	0.001
		ふっ素及びその化合物	mg/L	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.8以下

※赤字、太字、下線は、土壌溶出量基準・地下水基準に不適合であることを示す。

— : 汚染到達深度を示す。

表 2-5 (2) 深度調査の分析結果

調査区画				B2-2b										溶出量基準	定量下限値
調査深度		基準面下 m	-0.50m	-1.00m	-2.00m	-3.00m	-4.00m	-4.60m	-	-	-	-			
		GL m	-0.75m	-1.25m	-2.25m	-3.25m	-4.25m	-4.85m	-	-	-	-			
		KBM m	+2.43m	+1.93m	+0.93m	-0.07m	-1.07m	-1.67m	-	-	-	-			
土壌溶出量調査	第二種特定有害物質	砒素及びその化合物	mg/L	0.016	0.014	0.004	0.020	0.011	0.014	-	-	-	-		
		ふっ素及びその化合物	mg/L	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		

調査区画				B2-3b										溶出量基準	定量下限値
調査深度		基準面下 m	-0.50m	-1.00m	-2.00m	-3.00m	-4.00m	-5.00m	-6.00m	-6.70m	-	-			
		GL m	-0.80m	-1.30m	-2.30m	-3.30m	-4.30m	-5.30m	-6.30m	-7.00m	-	-			
		KBM m	+2.35m	+1.85m	+0.85m	-0.15m	-1.15m	-2.15m	-3.15m	-3.85m	-	-			
土壌溶出量調査	第二種特定有害物質	砒素及びその化合物	mg/L	0.012	0.001	0.004	-	-	-	-	-	-	-		
		ふっ素及びその化合物	mg/L	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		

調査区画				C1-5b										溶出量基準	定量下限値
調査深度		基準面下 m	-0.50m	-1.00m	-2.00m	-3.00m	-4.00m	-4.70m	-	-	-	-			
		GL m	-0.50m	-1.00m	-2.00m	-3.00m	-4.00m	-4.70m	-	-	-	-			
		KBM m	+2.84m	+2.34m	+1.34m	+0.34m	-0.66m	-1.36m	-	-	-	-			
土壌溶出量調査	第二種特定有害物質	砒素及びその化合物	mg/L	0.014	0.022	0.021	0.004	0.004	-	-	-	-	-		
		ふっ素及びその化合物	mg/L	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		

※土壌汚染状況調査と深度調査では調査地点の変更を実施している(土壌汚染状況調査: KBM+2.89m 被覆0.05m、深度調査: KBM+2.84m 被覆なし)。そのため、土壌汚染状況調査で実施した基準面下-0.50mの調査深度は深度調査地点の標高に換算を行っている。

調査区画				C1-9b										溶出量基準	定量下限値
調査深度		基準面下 m	-0.50m	-1.00m	-2.00m	-3.00m	-4.00m	-5.00m	-5.55m	-	-	-			
		GL m	-0.85m	-1.35m	-2.35m	-3.35m	-4.35m	-5.35m	-5.90m	-	-	-			
		KBM m	+2.41m	+1.91m	+0.91m	-0.09m	-1.09m	-2.09m	-2.64m	-	-	-			
土壌溶出量調査	第二種特定有害物質	砒素及びその化合物	mg/L	0.011	0.005	0.001未満	-	-	-	-	-	-	-		
		ふっ素及びその化合物	mg/L	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		

調査区画				D1-4b										溶出量基準	定量下限値
調査深度		基準面下 m	-2.60m (配管下)	-3.00m	-4.00m	-4.50m	-	-	-	-	-	-			
		GL m	-2.60m (配管下)	-3.00m	-4.00m	-4.50m	-	-	-	-	-	-			
		KBM m	+1.67m	+1.27m	+0.27m	-0.23m	-	-	-	-	-	-			
土壌溶出量調査	第二種特定有害物質	砒素及びその化合物	mg/L	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
		ふっ素及びその化合物	mg/L	1.2	0.48	0.08未満	-	-	-	-	-	-	-		

※赤字、太字、下線は、土壌溶出量基準・地下水基準に不適合であることを示す。

— : 汚染到達深度を示す。

表 2-5 (3) 深度調査の分析結果

調査区画				D2-1b								溶出量基準	定量下限値	
調査深度		基準面下 m	-0.50m	-1.00m	-2.00m	-3.00m	-4.00m	-4.80m	-	-	-			-
		GL m	-0.50m	-1.00m	-2.00m	-3.00m	-4.00m	-4.80m	-	-	-			-
		KBM m	+2.78m	+2.28m	+1.28m	+0.28m	-0.72m	-1.52m	-	-	-	-		
土壌溶出量 調査	第二種特定 有害物質	砒素及びその化合物	mg/L	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.01以下	0.001
		ふっ素及びその化合物	mg/L	<u>0.89</u>	0.53	0.36	-	-	-	-	-	-	-	0.8以下

※赤字、太字、下線は、土壌溶出量基準・地下水基準に不適合であることを示す。

— : 汚染到達深度を示す。

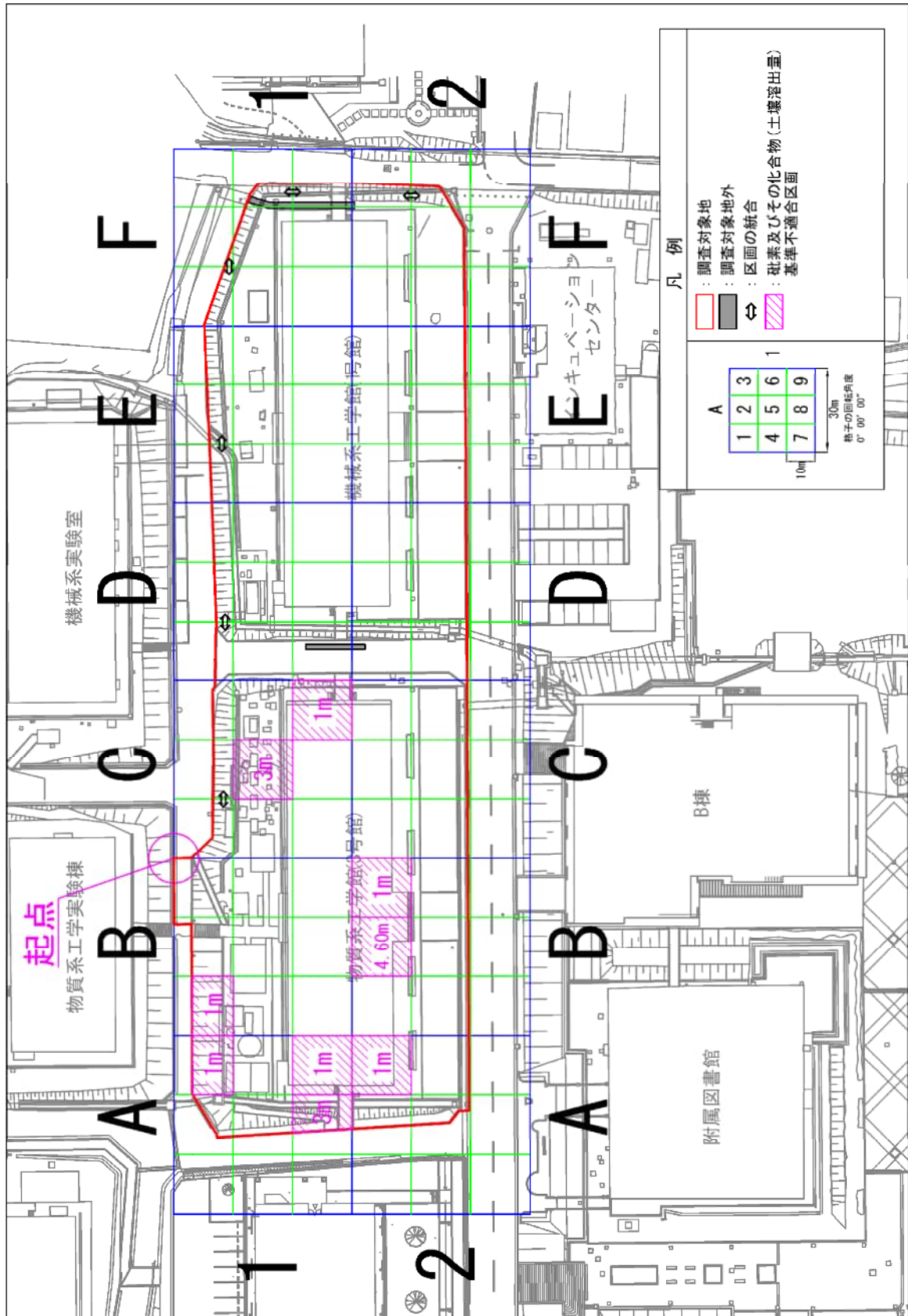


図 2-7 (1) 汚染到達深度の評価図面
(砒素及びその化合物 土壌溶出量)

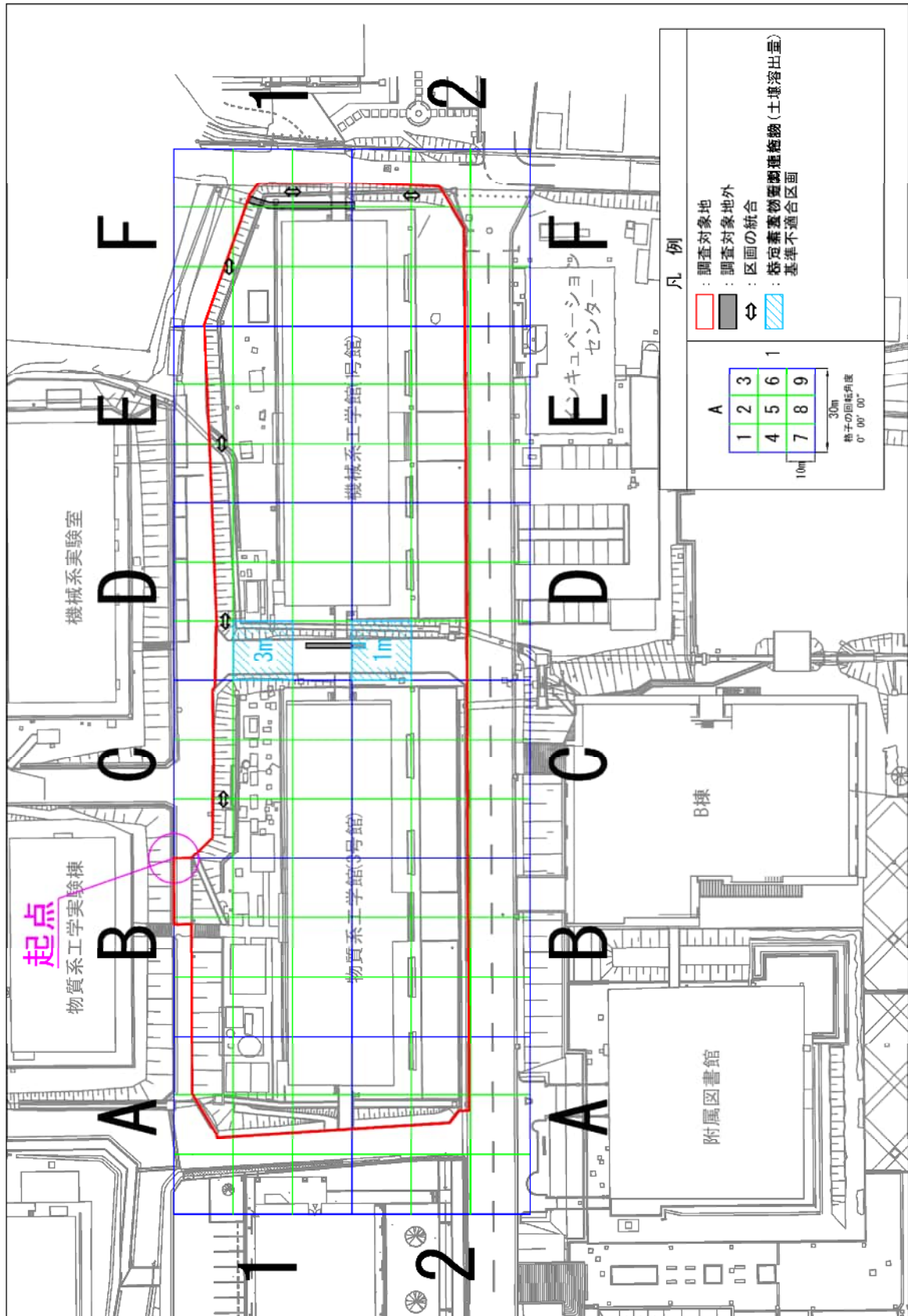


図 2-7 (2) 汚染到達深度の評価図面
(ふっ素及びその化合物 土壌溶出量)

3. 深度調査(その2 深度絞込)

3.1 調査概要

深度調査(その1)では基準不適合であった項目に関して、深度調査を実施し、1m毎の汚染到達深度を確認した。本調査では、汚染到達深度が確定した B2-2b を除く地点において基準不適合深度と基準適合深度の間を対象に 0.25m 毎で土壌調査を実施することにより、汚染到達深度を絞り込むことを目的とした。

3.2 調査方法

3.2.1 調査対象物質

調査対象物質は深度調査(その1)と同様の項目とした。

3.2.2 試料採取方法

本調査では、深度調査(その1)にて採取したボーリング試料を分析試料として用いた。試料採取は、基準不適合深度と基準適合深度の間を対象に 0.25m 毎で実施した。試料採取深度の考え方を図 3-1 に、各单位区画における採取深度を表 3-1 に示す。本調査では、上層部の試料から分析を実施し、基準適合が確認される深度まで分析を行った。

また、既往土壌調査により、基準適合深度と基準不適合深度の間で配管した土壌の調査を実施しているものがある。当データに関しても汚染到達深度を絞り込むために引用を行っている。

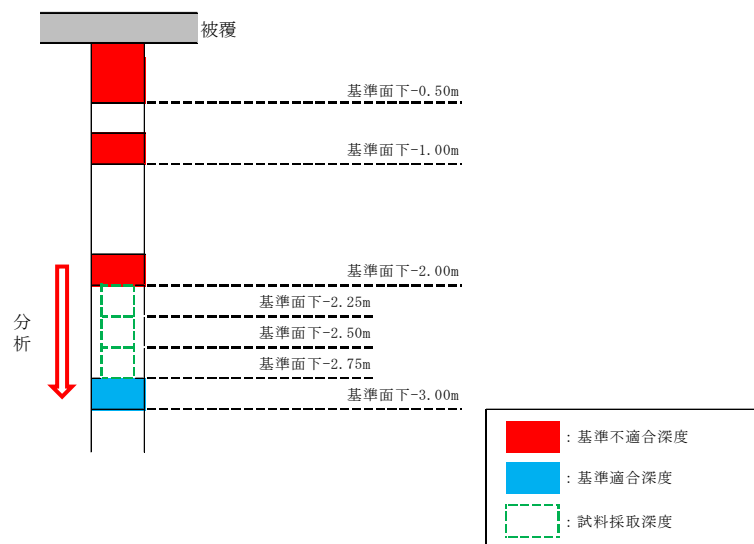


図 3-1 試料採取地点の考え方

表 3-1 各单位区画における採取深度

単位区画	採取した分析試料の深度
A1-3b	基準面下-0.75m
A1-8b	基準面下-2.25m 基準面下-2.50m 基準面下-2.75m
A1-9b	基準面下-0.75m
A2-3b	基準面下-0.85m [※]
B1-1b	基準面下-0.75m
B2-3b	基準面下-0.80m [※]
C1-5b	基準面下-2.25m 基準面下-2.50m 基準面下-2.75m
C1-9b	基準面下-0.75m [※]
D1-9b	基準面下-2.75m
D2-1b	基準面下-0.75m

※既往土壌調査の配管下調査のデータを引用したもの

3.2.3 分析方法

分析方法は深度調査（その1）と同様とした。

3.3 調査結果

分析結果を前章の結果とともに表 3-2 に、汚染到達深度の評価図面を図 3-2 に示す。

砒素及びその化合物の土壌溶出量では、基準不適合となった単位区画 9 区画（前章で汚染到達深度が確定したものを含む）を対象に分析を実施した結果、汚染到達深度が-0.75mとなった区画は 4 区画、-0.80mの区画は 1 区画、-0.85mの区画は 1 区画、-2.75 mの区画は 2 区画、-4.60mの区画は 1 区画となった。

ふっ素及びその化合物の土壌溶出量では、基準不適合となった単位区画 2 区画を対象に分析を実施した結果、汚染到達深度が-1.00mとなった区画は 1 区画、-2.75mの区画は 1 区画であった。

表 3-2 (1) 深度調査の分析結果

調査区画				A1-3b									溶出量基準	定量下限値	
調査深度		基準面下 m	-0.60m (配管下)	-0.75m	-1.00m	-2.00m	-3.00m	-4.00m	-4.70m	-	-	-			
		GL m	-0.60m (配管下)	-0.75m	-1.00m	-2.00m	-3.00m	-4.00m	-4.70m	-	-	-			
		KBM m	+2.61m (配管下)	+2.46m	+2.21m	+1.21m	+0.21m	-0.79m	-1.49m	-	-	-			
土壌溶出量調査	第二種特定有害物質	砒素及びその化合物	mg/L	0.011	0.003	0.003	0.003	-	-	-	-	-	-	0.01以下	0.001
		ふっ素及びその化合物	mg/L	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.8以下

調査区画				A1-8b									溶出量基準	定量下限値	
調査深度		基準面下 m	-0.50m	-1.00m	-2.00m	-2.25m	-2.50m	-2.75m	-3.00m	-4.00m	-5.00m	-5.30m			
		GL m	-0.75m	-1.25m	-2.25m	-2.50m	-2.75m	-3.00m	-3.25m	-4.25m	-5.25m	-5.55m			
		KBM m	+3.53m	+3.03m	+2.03m	+1.78m	+1.53m	+1.28m	+1.03m	+0.03m	-0.97m	-1.27m			
土壌溶出量調査	第二種特定有害物質	砒素及びその化合物	mg/L	0.030	0.003	0.013	0.004	0.012	0.010	0.005	0.003	-	-	0.01以下	0.001
		ふっ素及びその化合物	mg/L	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.8以下

調査区画				A1-9b									溶出量基準	定量下限値	
調査深度		基準面下 m	-0.50m	-0.75m	-1.00m	-2.00m	-3.00m	-4.00m	-4.65m	-	-	-			
		GL m	-0.80m	-1.05m	-1.30m	-2.30m	-3.30m	-4.30m	-4.95m	-	-	-			
		KBM m	+2.45m	+2.20m	+1.95m	+0.95m	-0.05m	-1.05m	-1.70m	-	-	-			
土壌溶出量調査	第二種特定有害物質	砒素及びその化合物	mg/L	0.017	0.002	0.002	0.004	-	-	-	-	-	-	0.01以下	0.001
		ふっ素及びその化合物	mg/L	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.8以下

調査区画				A2-3b									溶出量基準	定量下限値	
調査深度		基準面下 m	-0.50m	-0.85m (配管下)	-1.00m	-2.00m	-3.00m	-4.00m	-4.60m	-	-	-			
		GL m	-0.75m	-1.10m (配管下)	-1.25m	-2.25m	-3.25m	-4.25m	-4.85m	-	-	-			
		KBM m	+2.45m	+2.10m (配管下)	+1.95m	+0.95m	-0.05m	-1.05m	-1.65m	-	-	-			
土壌溶出量調査	第二種特定有害物質	砒素及びその化合物	mg/L	0.018	0.003	0.003	0.003	-	-	-	-	-	-	0.01以下	0.001
		ふっ素及びその化合物	mg/L	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.8以下

調査区画				B1-1b									溶出量基準	定量下限値	
調査深度		基準面下 m	-0.50m	-0.60m (配管下)	-0.75m	-1.00m	-2.00m	-3.00m	-4.00m	-4.30m	-	-			
		GL m	-0.50m	-0.60m (配管下)	-0.75m	-1.00m	-2.00m	-3.00m	-4.00m	-4.30m	-	-			
		KBM m	+2.79m	+2.69m (配管下)	+2.54m	+2.29m	+1.29m	+0.29m	-0.71m	-1.01m	-	-			
土壌溶出量調査	第二種特定有害物質	砒素及びその化合物	mg/L	0.015	0.014	0.001未満	0.001未満	0.007	-	-	-	-	-	0.01以下	0.001
		ふっ素及びその化合物	mg/L	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.8以下

※赤字、太字、下線は、土壌溶出量基準・地下水基準に不適合であることを示す。

— : 汚染到達深度を示す。

表 3-2 (2) 深度調査の分析結果

調査区画				B2-2b										溶出量基準	定量下限値
調査深度		基準面下 m	-0.50m	-1.00m	-2.00m	-3.00m	-4.00m	-4.60m	-	-	-	-			
		GL m	-0.75m	-1.25m	-2.25m	-3.25m	-4.25m	-4.85m	-	-	-	-			
		KBM m	+2.43m	+1.93m	+0.93m	-0.07m	-1.07m	-1.67m	-	-	-	-			
土壌溶出量調査	第二種特定有害物質	砒素及びその化合物	mg/L	0.016	0.014	0.004	0.020	0.011	0.014	-	-	-	-	0.01以下	0.001
		ふっ素及びその化合物	mg/L	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.8以下

調査区画				B2-3b										溶出量基準	定量下限値
調査深度		基準面下 m	-0.50m	-0.80m (配管下)	-1.00m	-2.00m	-3.00m	-4.00m	-5.00m	-6.00m	-6.70m	-			
		GL m	-0.80m	-1.10m (配管下)	-1.30m	-2.30m	-3.30m	-4.30m	-5.30m	-6.30m	-7.00m	-			
		KBM m	+2.35m	+2.05m (配管下)	+1.85m	+0.85m	-0.15m	-1.15m	-2.15m	-3.15m	-3.85m	-			
土壌溶出量調査	第二種特定有害物質	砒素及びその化合物	mg/L	0.012	0.001未満	0.001	0.004	-	-	-	-	-	-	0.01以下	0.001
		ふっ素及びその化合物	mg/L	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.8以下

調査区画				C1-5b										溶出量基準	定量下限値
調査深度※		基準面下 m	-0.50m	-1.00m	-2.00m	-2.25m	-2.50m	-2.75m	-3.00m	-4.00m	-4.70m	-			
		GL m	-0.50m	-1.00m	-2.00m	-2.25m	-2.50m	-2.75m	-3.00m	-4.00m	-4.70m	-			
		KBM m	+2.84m	+2.34m	+1.34m	+1.09m	+0.84m	+0.59m	+0.34m	-0.66m	-1.36m	-			
土壌溶出量調査	第二種特定有害物質	砒素及びその化合物	mg/L	0.014	0.022	0.021	0.014	0.012	0.003	0.004	0.004	-	-	0.01以下	0.001
		ふっ素及びその化合物	mg/L	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.8以下

※土壌汚染状況調査と深度調査では調査地点の変更を実施している(土壌汚染状況調査: KBM+2.89m 被覆0.05m、深度調査: KBM+2.84m 被覆なし)。そのため、土壌汚染状況調査で実施した基準面下-0.50mの調査深度は深度調査地点の標高に換算を行っている。

調査区画				C1-9b										溶出量基準	定量下限値
調査深度		基準面下 m	-0.50m	-0.75m (配管下)	-1.00m	-2.00m	-3.00m	-4.00m	-5.00m	-5.55m	-	-			
		GL m	-0.85m	-1.10m (配管下)	-1.35m	-2.35m	-3.35m	-4.35m	-5.35m	-5.90m	-	-			
		KBM m	+2.41m	+2.16m (配管下)	+1.91m	+0.91m	-0.09m	-1.09m	-2.09m	-2.64m	-	-			
土壌溶出量調査	第二種特定有害物質	砒素及びその化合物	mg/L	0.011	0.002	0.005	0.001未満	-	-	-	-	-	-	0.01以下	0.001
		ふっ素及びその化合物	mg/L	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.8以下

調査区画				D1-4b										溶出量基準	定量下限値
調査深度		基準面下 m	-2.60m (配管下)	-2.75m	-3.00m	-4.00m	-4.50m	-	-	-	-	-			
		GL m	-2.60m (配管下)	-2.75m	-3.00m	-4.00m	-4.50m	-	-	-	-	-			
		KBM m	+1.67m (配管下)	+1.52m	+1.27m	+0.27m	-0.23m	-	-	-	-	-			
土壌溶出量調査	第二種特定有害物質	砒素及びその化合物	mg/L	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.01以下	0.001
		ふっ素及びその化合物	mg/L	1.2	0.76	0.48	0.08未満	-	-	-	-	-	-	0.8以下	0.08

※赤字、太字、下線は、土壌溶出量基準・地下水基準に不適合であることを示す。

— : 汚染到達深度を示す。

表 3-2 (3) 深度調査の分析結果

調査区画				D2-1b									溶出量基準	定量下限値
調査深度		基準面下 m	-0.50m	-0.75m	-1.00m	-2.00m	-3.00m	-4.00m	-4.80m	-	-	-		
		GL m	-0.50m	-0.75m	-1.00m	-2.00m	-3.00m	-4.00m	-4.80m	-	-	-		
		KBM m	+2.78m	+2.53m	+2.28m	+1.28m	+0.28m	-0.72m	-1.52m	-	-	-		
土壌溶出量 調査	第二種特定 有害物質	砒素及びその化合物	mg/L	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.01以下	0.001
		ふっ素及びその化合物	mg/L	<u>0.89</u>	<u>1.4</u>	0.53	0.36	-	-	-	-	-	0.8以下	0.08

※赤字、太字、下線は、土壌溶出量基準・地下水基準に不適合であることを示す。

— : 汚染到達深度を示す。

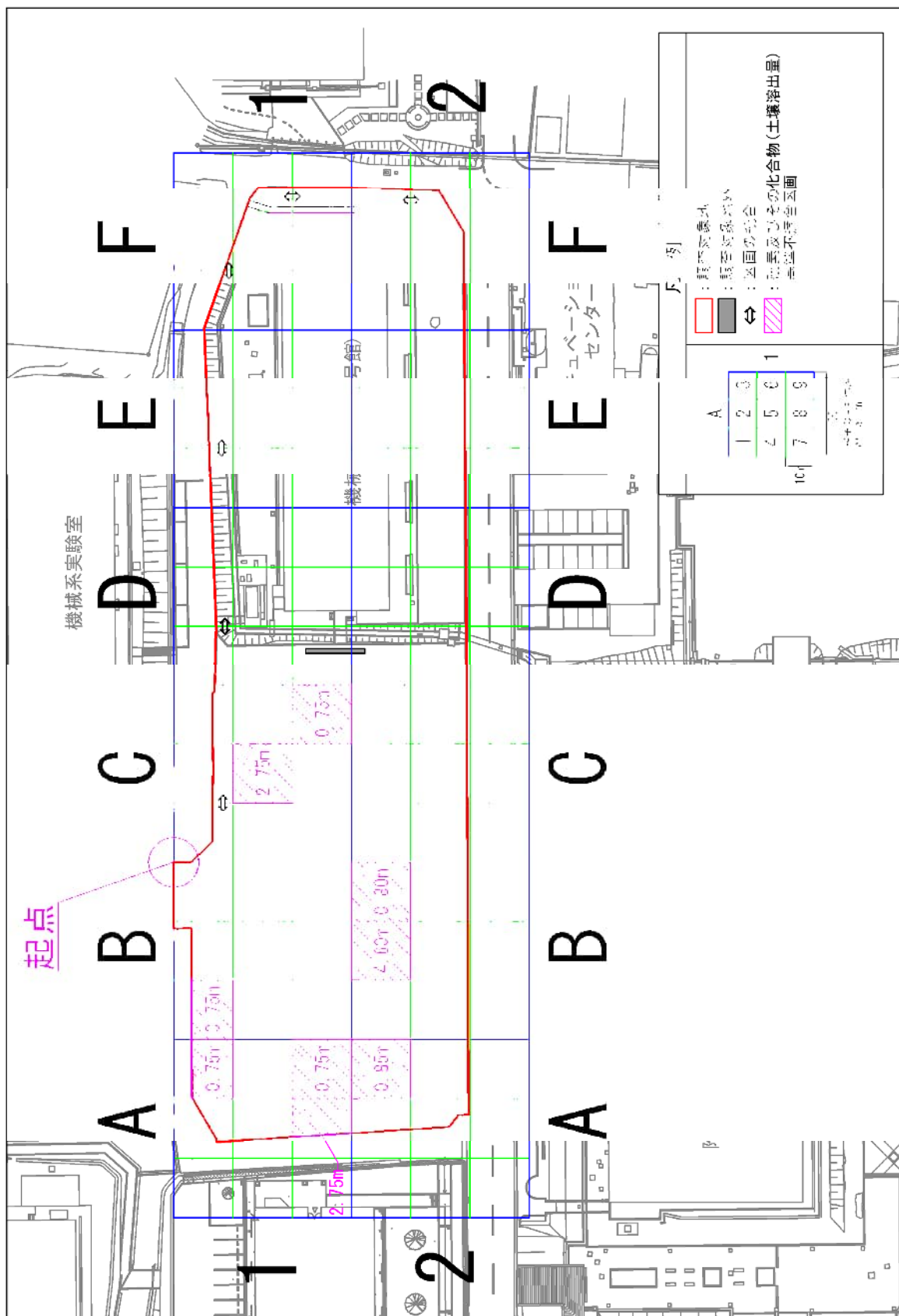


図 3-2 (1) 汚染到達深度の評価図面
(砒素及びその化合物 土壌溶出量)

4. 調査数量

本調査の調査数量を表 4-1 に示す。

表 4-1 本調査の調査数量

種別	内容		規格・仕様	数量	備考
	測量		調査地点の高さ測量（座標）	1式	
深度調査 (その1)	コア抜き			1式	地点数：6地点/11地点 被覆厚※：計1.25m
	土壌採取及び復旧		簡易ボーリングマシン及び人力掘削 調査孔閉塞	60.70m 11地点	
	分析試料採取	土壌	22深度(基準面下-1m毎、岩盤直上)	57試料	
		地下水	ボーリング孔より採取	0試料	
	土壌溶出量試験	試料調整	試料の前処理（風乾、粒度調整）	57試料	
		分析	検液作成	29検体	
			砒素及びその化合物	25検体	
	ふっ素及びその化合物		4検体		
	地下水試験	砒素及びその化合物		0検体	
		ふっ素及びその化合物		0検体	
深度調査 (その2)	分析試料採取	土壌	11深度	11試料	
	土壌溶出量試験	試料調整	試料の前処理（風乾、粒度調整）	11試料	
		分析	検液作成	11検体	
			砒素及びその化合物	9検体	
			ふっ素及びその化合物	2検体	

5. まとめ

【背景】

- ・ 兵庫県立大学姫路工学キャンパスの工事範囲3では、令和7年10月に土地の形質変更を目的として、既往土壌調査が実施されており、「砒素及びその化合物」「ふっ素及びその化合物」の土壌溶出量で基準不適合が確認されている。
- ・ 既往土壌調査では、基準不適合土壌の存在する範囲を単位区画毎で平面的に評価しているものの、汚染の到達深度のような鉛直的な評価は行われていない。汚染到達深度は、当範囲で形質変更を実施する際や浄化工事を実施する際の工事計画策定に必要な情報である。
- ・ 本調査では、基準不適合が確認されている単位区画においてボーリングを用いた深度調査を実施し、汚染到達深度を評価することを目的とした。

【深度調査(その1)】

- ・ 深度調査(その1)では、既往土壌調査により基準不適合が確認された単位区画11区画を対象にボーリングを用いた深度調査を実施し、汚染到達深度及び地下水汚染の有無を把握した。
- ・ 調査地点は、既往土壌調査で基準不適合となった単位区画11区画(砒素及びその化合物:9区画、ふっ素及びその化合物:2区画)を対象とした。試料採取地点は、基本、既往土壌調査と同様としているものの、A1-3b及びC1-5bの2地点に関してはボーリングマシンの設置が不可能であったため、場所の変更を実施している。
- ・ 試料採取は、移動式ボーリングマシンを用いて、10mまでボーリング掘削を行い、掘削したボーリングコアから、1m毎で土壌を採取するものとするが、掘削中に岩盤への到達が確認された場合は掘削深度を岩盤が確認できるまでの深度とし、岩盤直上の土壌に関しても採取するものとした。ただし、調査地点にアスファルト等の被覆がある場合には、コアカッターにより被覆及び被覆下の碎石等を取り除いた後、取り除いた土壌表面を基準面とし、10mまでもしくは、岩盤が確認できる深度までボーリング掘削を実施するものとする。
- ・ 本調査ではすべての地点で岩盤に到達したことから基準面下から1m毎の土壌と岩盤直上の試料を採取した。また、すべての調査地点において地下水は確認されなかった。
- ・ 分析は採取した試料の内、地表面に近い深度から開始し、2深度の基準適合が確認されるまで実施した。

- ・ 砒素及びその化合物の土壌溶出量では、基準不適合となった単位区画 9 区画を対象に分析を実施した結果、汚染到達深度が-1.00mとなった区画は 6 区画、-3.00 mの区画は 2 区画、2 深度の基準適合が確認できなかった地点は 1 区画であった。2 深度の基準適合が確認できなかった地点(B2-2b)に関しては、岩盤までの深度である-4.60mを汚染到達深度とした。
- ・ ふっ素及びその化合物の土壌溶出量では、基準不適合となった単位区画 2 区画を対象に分析を実施した結果、汚染到達深度が-1.00mとなった区画は 1 区画、-3.00 mの区画は 1 区画であった。
- ・ また、すべての調査地点で地下水は確認されておらず、地下水汚染はないと判断した。

【深度調査(その 2 深度絞込)】

- ・ 深度調査(その 2)では、汚染到達深度が確定した B2-2b を除く地点において基準不適合深度と基準適合深度の間を対象に 0.25m毎で土壌調査を実施することにより、汚染到達深度を絞り込むことを目的とした。
- ・ 本調査では、深度調査(その 1)にて採取したボーリング試料を分析試料として用いた。試料採取は、基準不適合深度と基準適合深度の間を対象に 0.25m毎で実施した。本調査では、上層部の試料から分析を実施し、基準適合が確認される深度まで分析を行った。また、既往土壌調査により、基準適合深度と基準不適合深度の間で配管下土壌の調査を実施しているものがある。当データに関しても汚染到達深度を絞り込むために引用を行っている。
- ・ 砒素及びその化合物の土壌溶出量では、基準不適合となった単位区画 9 区画（前章で汚染到達深度が確定したものを含む）を対象に分析を実施した結果、汚染到達深度が-0.75mとなった区画は 4 区画、-0.80mの区画は 1 区画、-0.85mの区画は 1 区画、-2.75mの区画は 2 区画、-4.60mの区画は 1 区画となった。
- ・ ふっ素及びその化合物の土壌溶出量では、基準不適合となった単位区画 2 区画を対象に分析を実施した結果、汚染到達深度が-1.00mとなった区画は 1 区画、-2.75 mの区画は 1 区画であった。

卷末資料

深度調査

(その1)

1. 計量證明書



濃度計量証明書

No. WS250640-1/2

2026年3月19日

兵庫県 殿

計量証明事業登録 大阪府 第10286号
エヌ エス 環境株式会社
〒105-0011 東京都港区芝公園1-2-9
大阪支社 大阪分析センター
〒564-0062 大阪府吹田市垂水町2-36-27
電話 (06) 6310-6222 (代)
環境計量士(濃度) 三井 栄 印
環境計量士(濃度関係)登録番号 第10559号

貴依頼による計量の結果を下記のとおり証明致します。

1. 件名 兵庫県立大学 姫路工学キャンパス
土壌汚染状況調査(工事範囲3)

2. 採取年月日 2026年 2月 18日 から 2026年 3月 5日

3. 計量の対象 土壌

4. 計量の方法 【溶出量調査】

砒素及びその化合物：JIS K 0102-3 20.5(2022)

ふっ素及びその化合物：JIS K 0102-2 5.2及び5.4(2022)

5. 計量の結果 結果一覧表のとおり (No.WS250640-2/2)

6. 備考
・検液作成方法(溶出量調査)：平成15年環告第18号に定める方法
・不検出とは、定量下限値を下回っていることを示す。



件名：兵庫県立大学 姫路工学キャンパス 土壌汚染状況調査(工事範囲3)

試料名				A1-3b		A1-8b				A1-9b		A2-3b		定量下限値
				-1.0m	-2.0m	-1.0m	-2.0m	-3.0m	-4.0m	-1.0m	-2.0m	-1.0m	-2.0m	
計量の項目	第二種特定有害物質	砒素及びその化合物	mg/L	0.003	0.003	0.003	0.013	0.005	0.003	0.002	0.004	0.003	0.003	0.001
		ふっ素及びその化合物	mg/L	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

試料名				B1-1b		B2-2b				B2-3b		C1-5b	定量下限値	
				-1.0m	-2.0m	-1.0m	-2.0m	-3.0m	-4.0m	-4.60m	-1.0m	-2.0m		-1.0m
計量の項目	第二種特定有害物質	砒素及びその化合物	mg/L	0.001未満	0.007	0.014	0.004	0.020	0.011	0.014	0.001	0.004	0.022	0.001
		ふっ素及びその化合物	mg/L	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

試料名				C1-5b			C1-9b		D1-4b		D2-1b		-	定量下限値
				-2.0m	-3.0m	-4.0m	-1.0m	-2.0m	-3.0m	-4.0m	-1.0m	-2.0m	-	
計量の項目	第二種特定有害物質	砒素及びその化合物	mg/L	0.021	0.004	0.004	0.005	0.001未満	-	-	-	-	-	0.001
		ふっ素及びその化合物	mg/L	-	-	-	-	-	0.48	0.08未満	0.53	0.36	-	-



2. 試料採取記録

深度調査 土壌試料採取記録

件名：兵庫県立大学 姫路工学キャンパス 土壌汚染状況調査(工事範囲3)

担当者：千田 博英

地点名	採取日	採取時間	採取深度 (基準面下 m)	土質区分	色調	臭気	備考
A1-3b	2026/2/27	14:15	-1.00m	礫・粘土混じり砂	褐灰	-	被覆厚:0cm (裸地) ボーリングマシンを設置不可により、 既往土壌調査地点から移動 (西方向に2.8m)
			-2.00m			-	
			-3.00m	礫混じり粘土質砂	灰褐	-	
			-4.00m			-	
			-4.70m			-	
A1-8b	2026/3/5	10:23	-1.00m	礫混じり粘土質砂	褐灰	-	被覆厚:25cm (Co 25cm)
			-2.00m			-	
			-3.00m			-	
			-4.00m		暗褐灰	-	
			-5.00m			-	
			-5.30m			-	

深度調査 土壌試料採取記録

件名：兵庫県立大学 姫路工学キャンパス 土壌汚染状況調査(工事範囲3)

担当者：千田 博英

地点名	採取日	採取時間	採取深度 (基準面下 m)	土質区分	色調	臭気	備考
A1-9b	2026/2/27	10:26	-1.00m	礫混じり粘土質砂	褐灰	-	被覆厚:30cm (Co 10cm, 砂 10cm, Co 10cm)
			-2.00m		暗褐灰	-	
			-3.00m			-	
			-4.00m		灰褐	-	
			-4.65m			-	
A2-3b	2026/2/19	10:28	-1.00m	礫・粘土混じり砂	褐灰	-	被覆厚:25cm (Co 5cm, 砂 5cm, Co 15cm)
			-2.00m			-	
			-3.00m			-	
			-4.00m		暗褐灰	-	
			-4.60m			-	

深度調査 土壌試料採取記録

件名：兵庫県立大学 姫路工学キャンパス 土壌汚染状況調査(工事範囲3)

担当者：千田 博英

地点名	採取日	採取時間	採取深度 (基準面下 m)	土質区分	色調	臭気	備考	
B1-1b	2026/3/3	10:41	-1.00m	砂礫	灰	-	被覆厚:0cm (裸地)	
			-2.00m	礫混じり粘土質砂	褐灰	-		
			-3.00m	粘土混じり砂		-		
			-4.00m			-		
			-4.30m			-		
B2-2b	2026/2/18	15:26	-1.00m	礫混じり粘土質砂	褐灰	-	被覆厚:25cm (Co 5cm, 砂 10cm, Co 10cm)	
			-2.00m	粘土質砂礫	暗褐灰	-		
			-3.00m			-		
			-4.00m		礫・粘土混じり砂	褐灰		-
			-4.60m					-

深度調査 土壌試料採取記録

件名：兵庫県立大学 姫路工学キャンパス 土壌汚染状況調査(工事範囲3)

担当者：千田 博英

地点名	採取日	採取時間	採取深度 (基準面下 m)	土質区分	色調	臭気	備考
B2-3b	2026/2/18	13:22	-1.00m	礫混じり粘土質砂	褐灰	-	被覆厚:30cm (Co 5cm,砂 10cm,Co 15cm)
			-2.00m	粘土混じり砂礫	暗褐灰	-	
			-3.00m		褐灰	-	
			-4.00m			-	
			-5.00m	礫混り砂質粘土	灰褐	-	
			-6.00m			-	
			-6.70m	-			
C1-5b	2026/3/4	10:23	-1.00m	砂礫 (Coが混じる)	灰	-	被覆厚:0cm (裸地) ボーリングマシンを設置不可により、 既往土壌調査地点から移動 (東方向に3.1m)
			-2.00m	礫混じり粘土質砂	褐灰	-	
			-3.00m			-	
			-4.00m			-	
			-4.70m	礫・粘土混じり砂	-		

深度調査 土壌試料採取記録

件名：兵庫県立大学 姫路工学キャンパス 土壌汚染状況調査(工事範囲3)

担当者：千田 博英

地点名	採取日	採取時間	採取深度 (基準面下 m)	土質区分	色調	臭気	備考
C1-9b	2026/2/26	15:15	-1.00m	礫混じり粘土質砂	褐灰	-	被覆厚:35cm (Co 5cm, 砂 10cm, Co 20cm)
			-2.00m			-	
			-3.00m			-	
			-4.00m			-	
			-5.00m			-	
			-5.55m			-	
D1-4b	2026/3/4	13:23	-1.00m	粘土質砂	褐灰	-	被覆厚:0cm (裸地)
			-2.00m			-	
			-3.00m			-	
			-4.00m			-	
			-4.50m			-	

3. 現地記録写真

兵庫県立大学 姫路工学キャンパス 土壌汚染状況調査(工場範囲3)



工種: 土壌調査(深度調査)
測点: A1-3b

施工前



工種: 土壌調査(深度調査)
測点: A1-3b

施工中



工種: 土壌調査(深度調査)
測点: A1-3b

残尺=1.45m

兵庫県立大学 姫路工学キャンパス 土壌汚染状況調査(工場範囲3)



工事名	兵庫県立大学 姫路工学キャンパス 土壌汚染状況調査 (工場範囲3)		
地点名	A1-3b		
工種	土壌調査(深度調査)		
被覆厚=	m	内訳	
全長 =	6.45m	CT =	1.45m
残尺 =	1.45m	ロッド=	1.00m× 5本
検尺 =	5.00m	ロッド=	m× 本
2026/02/27 エヌエス環境株式会社			

工種: 土壌調査(深度調査)
 地点名: A1-3b
 被覆厚(m):
 全長(m): 6.45
 CT(m): 1.45
 残尺(m): 1.45
 ロッド(m): 1.00
 ×(本): 5
 検尺(m): 5.00
 ロッド(m):
 ×(本):



工事名	兵庫県立大学 姫路工学キャンパス 土壌汚染状況調査 (工場範囲3)		
工種	土壌調査(深度調査)		
測点	A1-3b		
採取試料			
2026/02/27 エヌエス環境株式会社			

工種: 土壌調査(深度調査)
 測点: A1-3b

採取試料



工事名	兵庫県立大学 姫路工学キャンパス 土壌汚染状況調査 (工場範囲3)		
工種	土壌調査(深度調査)		
測点	A1-3b		
施工後			
2026/02/27 エヌエス環境株式会社			

工種: 土壌調査(深度調査)
 測点: A1-3b

施工後

兵庫県立大学 姫路工学キャンパス 土壌汚染状況調査(工場範囲3)



工事名 兵庫県立大学 姫路工学キャンパス
土壌汚染状況調査 (工場範囲3)
工種 土壌調査(深度調査)
測点 A1-8b
施工前
エヌエス環境株式会社 2026/03/04

工種: 土壌調査(深度調査)
測点: A1-8b
施工前



工事名 兵庫県立大学 姫路工学キャンパス
土壌汚染状況調査 (工場範囲3)
工種 土壌調査(深度調査)
測点 A1-8b
施工中
エヌエス環境株式会社 2026/03/05

工種: 土壌調査(深度調査)
測点: A1-8b
施工中



工事名 兵庫県立大学 姫路工学キャンパス
土壌汚染状況調査 (工場範囲3)
工種 土壌調査(深度調査)
測点 A1-8b
残尺=0.20m
エヌエス環境株式会社 2026/03/05

工種: 土壌調査(深度調査)
測点: A1-8b
残尺=0.20m

兵庫県立大学 姫路工学キャンパス 土壌汚染状況調査(工場範囲3)



工種: 土壌調査(深度調査)
 地点名: A1-8b
 被覆厚(m): 0.25
 全長(m): 6.45
 CT(m): 1.45
 残尺(m): 0.20
 ロッド(m): 1.00
 ×(本): 6
 検尺(m): 6.00
 ロッド(m):
 ×(本):



工種: 土壌調査(深度調査)
 測点: A1-8b

採取試料



工種: 土壌調査(深度調査)
 測点: A1-8b

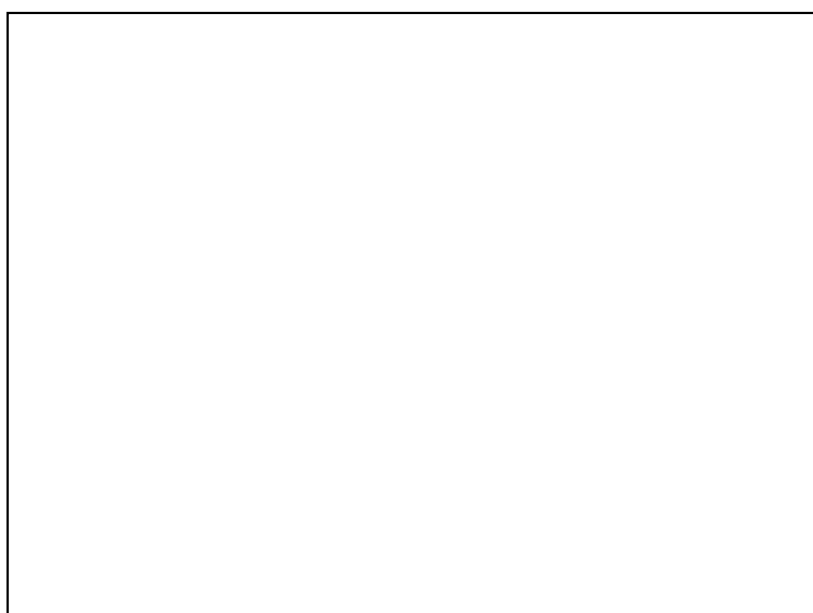
採取試料

兵庫県立大学 姫路工学キャンパス 土壌汚染状況調査(工場範囲3)



工種: 土壌調査(深度調査)
測点: A1-8b

施工後



兵庫県立大学 姫路工学キャンパス 土壌汚染状況調査(工場範囲3)



工事名 兵庫県立大学 姫路工学キャンパス
土壌汚染状況調査 (工事範囲3)
工種 土壌調査(深度調査)
測点 A1-9b
施工前
エヌエス環境株式会社 2026/02/26

工種: 土壌調査(深度調査)
測点: A1-9b
施工前



工事名 兵庫県立大学 姫路工学キャンパス
土壌汚染状況調査 (工事範囲3)
工種 土壌調査(深度調査)
測点 A1-9b
施工中
エヌエス環境株式会社 2026/02/27

工種: 土壌調査(深度調査)
測点: A1-9b
施工中



工事名 兵庫県立大学 姫路工学キャンパス
土壌汚染状況調査 (工事範囲3)
工種 土壌調査(深度調査)
測点 A1-9b
残尺=1.15m
エヌエス環境株式会社 2026/02/27

工種: 土壌調査(深度調査)
測点: A1-9b
残尺=1.15m

兵庫県立大学 姫路工学キャンパス 土壌汚染状況調査(工場範囲3)



工事名	兵庫県立大学 姫路工学キャンパス 土壌汚染状況調査 (工場範囲3)		
地点名	A1-9b		
工種	土壌調査(深度調査)		
被覆厚	0.30m	内訳	
全長	6.45m	CT	1.45m
残尺	1.15m	ロッド	1.00m× 5本
検尺	5.00m	ロッド	m× 本
2026/02/27 エヌエス環境株式会社			

工種: 土壌調査(深度調査)
 地点名: A1-9b
 被覆厚(m): 0.30
 全長(m): 6.45
 CT(m): 1.45
 残尺(m): 1.15
 ロッド(m): 1.00
 ×(本): 5
 検尺(m): 5.00
 ロッド(m):
 ×(本):



工事名	兵庫県立大学 姫路工学キャンパス 土壌汚染状況調査 (工場範囲3)		
工種	土壌調査(深度調査)		
測点	A1-9b		
採取試料			
2026/02/27 エヌエス環境株式会社			

件名	兵庫県立大学 姫路工学キャンパス 土壌汚染状況調査 (工場範囲3) 2026.2.27		
孔番	A1-9b	深度	0.00 m ~ 5.00 m
社名	エヌエス環境株式会社		

工種: 土壌調査(深度調査)
 測点: A1-9b
 採取試料



工事名	兵庫県立大学 姫路工学キャンパス 土壌汚染状況調査 (工場範囲3)		
工種	土壌調査(深度調査)		
測点	A1-9b		
施工後			
2026/02/27 エヌエス環境株式会社			

工種: 土壌調査(深度調査)
 測点: A1-9b
 施工後

兵庫県立大学 姫路工学キャンパス 土壌汚染状況調査(工場範囲3)



工事名 兵庫県立大学 姫路工学キャンパス
土壌汚染状況調査 (工場範囲3)
工種 土壌調査(深度調査)
測点 A2-3b
施工前
エヌエス環境株式会社 2026/02/18

工種: 土壌調査(深度調査)
測点: A2-3b
施工前



工事名 兵庫県立大学 姫路工学キャンパス
土壌汚染状況調査 (工場範囲3)
工種 土壌調査(深度調査)
測点 A2-3b
施工中
エヌエス環境株式会社 2026/02/19

工種: 土壌調査(深度調査)
測点: A2-3b
施工中



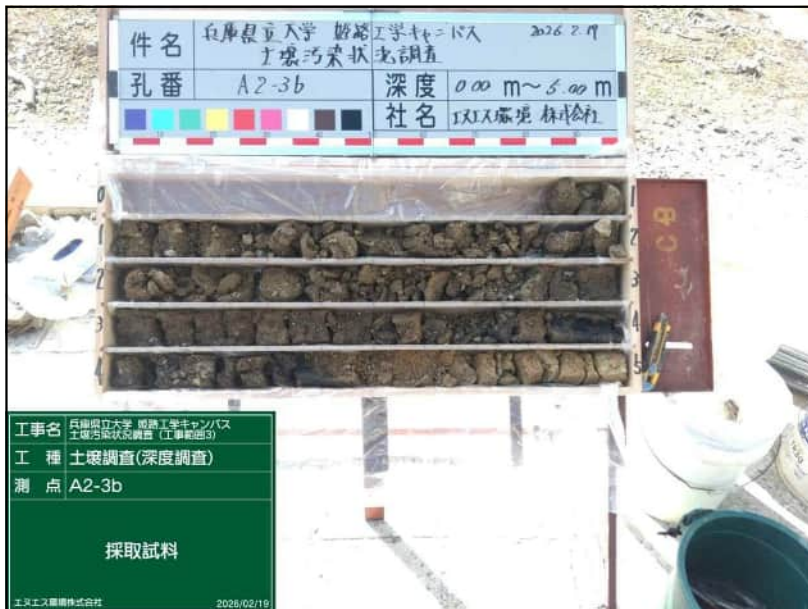
工事名 兵庫県立大学 姫路工学キャンパス
土壌汚染状況調査 (工場範囲3)
工種 土壌調査(深度調査)
測点 A2-3b
残尺=0.20m
エヌエス環境株式会社 2026/02/19

工種: 土壌調査(深度調査)
測点: A2-3b
残尺=0.20m

兵庫県立大学 姫路工学キャンパス 土壌汚染状況調査(工場範囲3)



工種: 土壌調査(深度調査)
 地点名: A2-3b
 被覆厚(m): 0.25
 全長(m): 5.45
 CT(m): 1.45
 残尺(m): 0.20
 ロッド(m): 1.00
 ×(本): 4
 検尺(m): 5.00
 ロッド(m):
 ×(本):



工種: 土壌調査(深度調査)
 測点: A2-3b
 採取試料



工種: 土壌調査(深度調査)
 測点: A2-3b
 施工後

兵庫県立大学 姫路工学キャンパス 土壤汚染状況調査(工場範囲3)



工種: 土壤調査(深度調査)
測点: B1-1b

施工前



工種: 土壤調査(深度調査)
測点: B1-1b

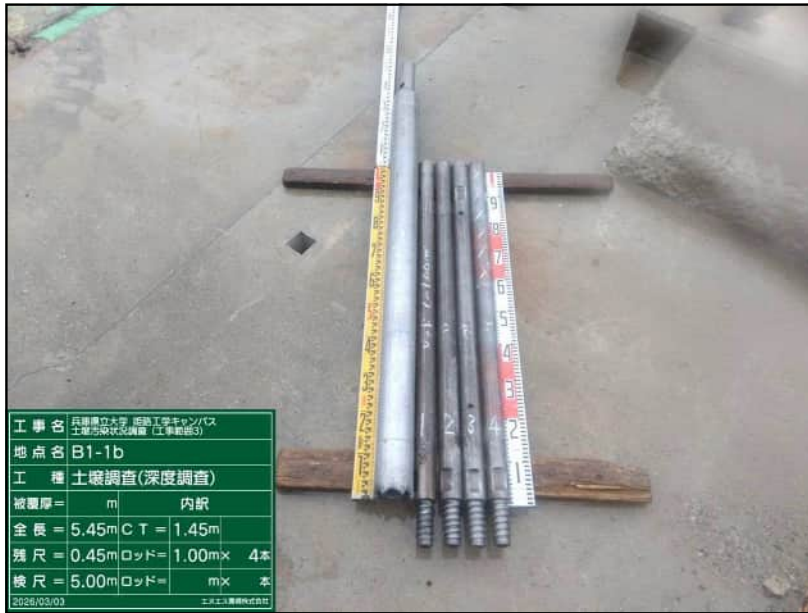
施工中



工種: 土壤調査(深度調査)
測点: B1-1b

残尺=0.45m

兵庫県立大学 姫路工学キャンパス 土壌汚染状況調査(工場範囲3)



工事名	兵庫県立大学 姫路工学キャンパス 土壌汚染状況調査 (工場範囲3)	
地点名	B1-1b	
工種	土壌調査(深度調査)	
被覆厚	m	内訳
全長	5.45m	CT = 1.45m
残尺	0.45m	ロッド = 1.00m × 4本
検尺	5.00m	ロッド = m × 本
2026/03/03 エヌエス環境株式会社		

工種: 土壌調査(深度調査)
 地点名: B1-1b
 被覆厚(m):
 全長(m): 5.45
 CT(m): 1.45
 残尺(m): 0.45
 ロッド(m): 1.00
 ×(本): 4
 検尺(m): 5.00
 ロッド(m):
 ×(本):



工事名	兵庫県立大学 姫路工学キャンパス 土壌汚染状況調査 (工場範囲3)	
工種	土壌調査(深度調査)	
測点	B1-1b	
採取試料		
2026/03/03 エヌエス環境株式会社		

件名	兵庫県立大学 姫路工学キャンパス 土壌汚染状況調査		2026.3.3
孔番	B1-1b	深度	0.00 m ~ 5.00 m
		社名	エヌエス環境株式会社

工種: 土壌調査(深度調査)
 測点: B1-1b
 採取試料



工事名	兵庫県立大学 姫路工学キャンパス 土壌汚染状況調査 (工場範囲3)	
工種	土壌調査(深度調査)	
測点	B1-1b	
施工後		
2026/03/03 エヌエス環境株式会社		

工種: 土壌調査(深度調査)
 測点: B1-1b
 施工後

兵庫県立大学 姫路工学キャンパス 土壌汚染状況調査(工場範囲3)



工事名 兵庫県立大学 姫路工学キャンパス
土壌汚染状況調査 (工事範囲3)

工種 土壌調査(深度調査)

測点 B2-2b

施工前

エヌエス環境株式会社 2026/02/18

工種: 土壌調査(深度調査)
測点: B2-2b

施工前



工事名 兵庫県立大学 姫路工学キャンパス
土壌汚染状況調査 (工事範囲3)

工種 土壌調査(深度調査)

測点 B2-2b

施工中

エヌエス環境株式会社 2026/02/18

工種: 土壌調査(深度調査)
測点: B2-2b

施工中



工事名 兵庫県立大学 姫路工学キャンパス
土壌汚染状況調査 (工事範囲3)

工種 土壌調査(深度調査)

測点 B2-2b

残尺=0.20m

エヌエス環境株式会社 2026/02/18

工種: 土壌調査(深度調査)
測点: B2-2b

残尺=0.20m

兵庫県立大学 姫路工学キャンパス 土壌汚染状況調査(工場範囲3)



工事名	兵庫県立大学 姫路工学キャンパス 土壌汚染状況調査 (工場範囲3)		
地点名	B2-2b		
工種	土壌調査(深度調査)		
被覆厚	0.25m	内訳	
全長	5.45m	CT	1.45m
残尺	0.20m	ロッド	1.00m× 4本
検尺	5.00m	ロッド	m× 本
2026/02/18 エヌエス環境株式会社			

工種: 土壌調査(深度調査)
 地点名: B2-2b
 被覆厚(m): 0.25
 全長(m): 5.45
 CT(m): 1.45
 残尺(m): 0.20
 ロッド(m): 1.00
 ×(本): 4
 検尺(m): 5.00
 ロッド(m):
 ×(本):



工事名	兵庫県立大学 姫路工学キャンパス 土壌汚染状況調査 (工場範囲3)		
工種	土壌調査(深度調査)		
測点	B2-2b		
採取試料			
エヌエス環境株式会社 2026/02/18			

件名	兵庫県立大学 姫路工学キャンパス 土壌汚染状況調査 2026.2.18		
孔番	B2-2b	深度	0.00 m ~ 5.00 m
		社名	エヌエス環境株式会社

工種: 土壌調査(深度調査)
 測点: B2-2b
 採取試料



工事名	兵庫県立大学 姫路工学キャンパス 土壌汚染状況調査 (工場範囲3)		
工種	土壌調査(深度調査)		
測点	B2-2b		
施工後			
エヌエス環境株式会社 2026/02/18			

工種: 土壌調査(深度調査)
 測点: B2-2b
 施工後

兵庫県立大学 姫路工学キャンパス 土壌汚染状況調査(工場範囲3)



工事名 兵庫県立大学 姫路工学キャンパス
土壌汚染状況調査 (工場範囲3)
工種 土壌調査(深度調査)
測点 B2-3b
施工前
エヌエス環境株式会社 2026/02/18

工種: 土壌調査(深度調査)
測点: B2-3b
施工前



工事名 兵庫県立大学 姫路工学キャンパス
土壌汚染状況調査 (工場範囲3)
工種 土壌調査(深度調査)
測点 B2-3b
施工中
エヌエス環境株式会社 2026/02/18

工種: 土壌調査(深度調査)
測点: B2-3b
施工中



工事名 兵庫県立大学 姫路工学キャンパス
土壌汚染状況調査 (工場範囲3)
工種 土壌調査(深度調査)
測点 B2-3b
残尺=0.15m
エヌエス環境株式会社 2026/02/18

工種: 土壌調査(深度調査)
測点: B2-3b
残尺=0.15m

兵庫県立大学 姫路工学キャンパス 土壌汚染状況調査(工場範囲3)



工事名	兵庫県立大学 姫路工学キャンパス 土壌汚染状況調査 (工場範囲3)		
地点名	B2-3b		
工種	土壌調査(深度調査)		
被覆厚	0.30m	内訳	
全長	7.45m	CT	1.45m
残尺	0.15m	ロッド	1.00m× 6本
検尺	7.00m	ロッド	m× 本
2026/02/18	エヌエス環境株式会社		

工種: 土壌調査(深度調査)
 地点名: B2-3b
 被覆厚(m): 0.30
 全長(m): 7.45
 CT(m): 1.45
 残尺(m): 0.15
 ロッド(m): 1.00
 ×(本): 6
 検尺(m): 7.00
 ロッド(m):
 ×(本):



工事名	兵庫県立大学 姫路工学キャンパス 土壌汚染状況調査 (工場範囲3)		
工種	土壌調査(深度調査)		
測点	B2-3b		
採取試料			
エヌエス環境株式会社	2026/02/18		

工種: 土壌調査(深度調査)
 測点: B2-3b
 採取試料



工事名	兵庫県立大学 姫路工学キャンパス 土壌汚染状況調査 (工場範囲3)		
工種	土壌調査(深度調査)		
測点	B2-3b		
採取試料			
エヌエス環境株式会社	2026/02/18		

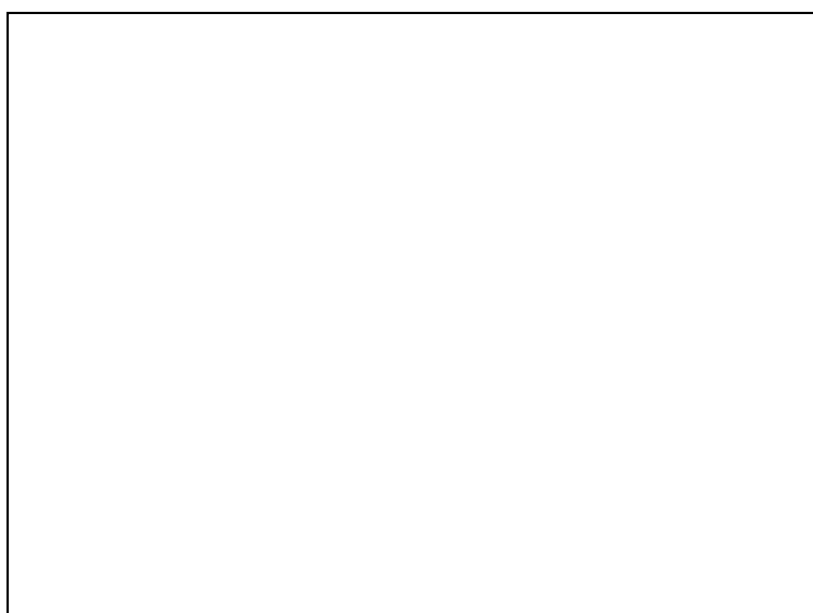
工種: 土壌調査(深度調査)
 測点: B2-3b
 採取試料

兵庫県立大学 姫路工学キャンパス 土壌汚染状況調査(工場範囲3)



工種: 土壌調査(深度調査)
測点: B2-3b

施工後



兵庫県立大学 姫路工学キャンパス 土壌汚染状況調査(工場範囲3)



工種: 土壌調査(深度調査)
測点: C1-5b

施工前



工種: 土壌調査(深度調査)
測点: C1-5b

施工中



工種: 土壌調査(深度調査)
測点: C1-5b

残尺=0.45m

兵庫県立大学 姫路工学キャンパス 土壌汚染状況調査(工場範囲3)



工事名	兵庫県立大学 姫路工学キャンパス 土壌汚染状況調査 (工場範囲3)	
地点名	C1-5b	
工種	土壌調査(深度調査)	
被覆厚	m	内訳
全長	5.45m	CT = 1.45m
残尺	0.45m	ロッド = 1.00m × 4本
検尺	5.00m	ロッド = m × 本
2026/03/04 エヌエス環境株式会社		

工種: 土壌調査(深度調査)
 地点名: C1-5b
 被覆厚(m):
 全長(m): 5.45
 CT(m): 1.45
 残尺(m): 0.45
 ロッド(m): 1.00
 ×(本): 4
 検尺(m): 5.00
 ロッド(m):
 ×(本):



工事名	兵庫県立大学 姫路工学キャンパス 土壌汚染状況調査 (工場範囲3)	
工種	土壌調査(深度調査)	
測点	C1-5b	
採取試料		
2026/03/04 エヌエス環境株式会社		

工種: 土壌調査(深度調査)
 測点: C1-5b
 採取試料



工事名	兵庫県立大学 姫路工学キャンパス 土壌汚染状況調査 (工場範囲3)	
工種	土壌調査(深度調査)	
測点	C1-5b	
施工後		
2026/03/04 エヌエス環境株式会社		

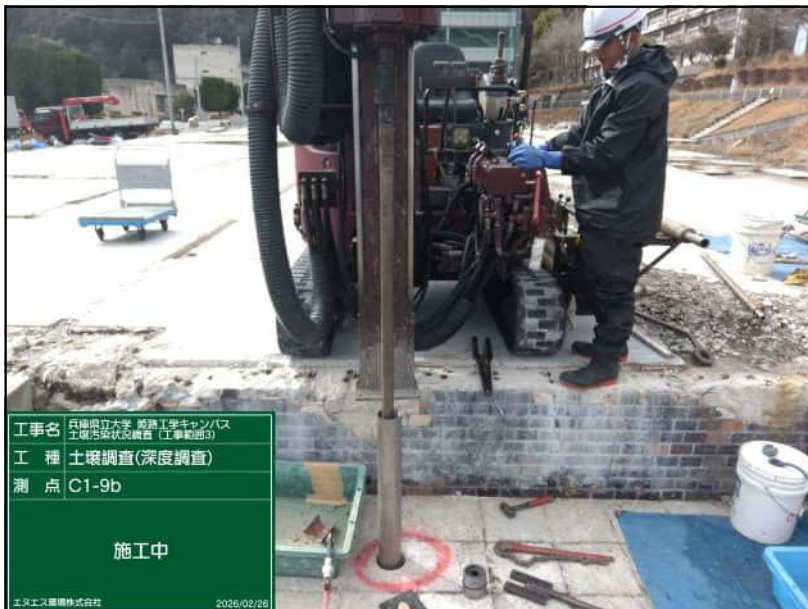
工種: 土壌調査(深度調査)
 測点: C1-5b
 施工後

兵庫県立大学 姫路工学キャンパス 土壌汚染状況調査(工場範囲3)



工種: 土壌調査(深度調査)
測点: C1-9b

施工前



工種: 土壌調査(深度調査)
測点: C1-9b

施工中



工種: 土壌調査(深度調査)
測点: C1-9b

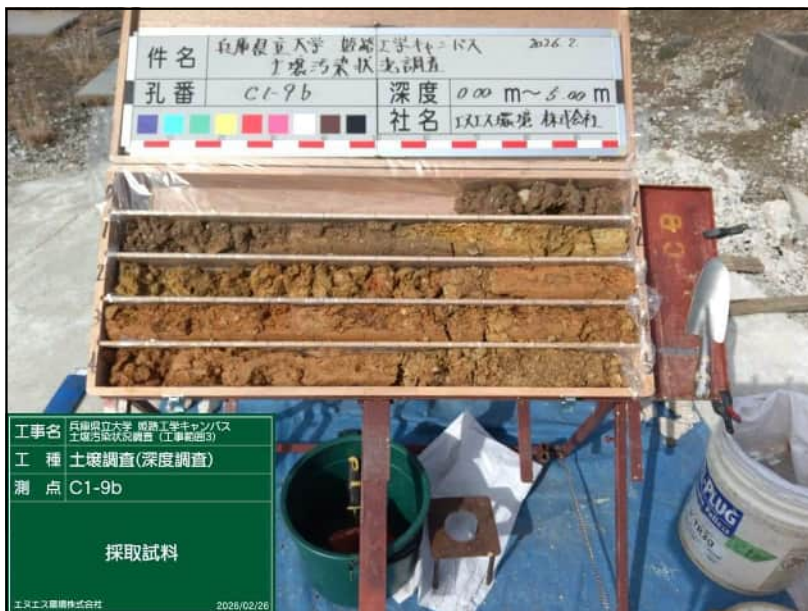
残尺=1.10m

兵庫県立大学 姫路工学キャンパス 土壌汚染状況調査(工場範囲3)



工事名	兵庫県立大学 姫路工学キャンパス 土壌汚染状況調査 (工場範囲3)		
地点名	C1-9b		
工種	土壌調査(深度調査)		
被覆厚	0.35m	内訳	
全長	7.45m	CT	1.45m
残尺	1.10m	ロッド	1.00m× 6本
検尺	6.00m	ロッド	m× 本
2026/02/26 エヌエス環境株式会社			

工種: 土壌調査(深度調査)
 地点名: C1-9b
 被覆厚(m): 0.35
 全長(m): 7.45
 CT(m): 1.45
 残尺(m): 1.10
 ロッド(m): 1.00
 ×(本): 6
 検尺(m): 6.00
 ロッド(m):
 ×(本):



工事名	兵庫県立大学 姫路工学キャンパス 土壌汚染状況調査 (工場範囲3)		
工種	土壌調査(深度調査)		
測点	C1-9b		
採取試料			
2026/02/26 エヌエス環境株式会社			

工種: 土壌調査(深度調査)
 測点: C1-9b

採取試料



工事名	兵庫県立大学 姫路工学キャンパス 土壌汚染状況調査 (工場範囲3)		
工種	土壌調査(深度調査)		
測点	C1-9b		
採取試料			
2026/02/26 エヌエス環境株式会社			

工種: 土壌調査(深度調査)
 測点: C1-9b

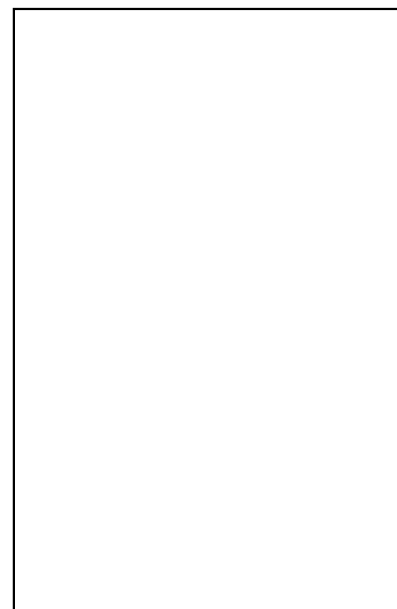
採取試料

兵庫県立大学 姫路工学キャンパス 土壌汚染状況調査(工場範囲3)



工種: 土壌調査(深度調査)
測点: C1-9b

施工後



兵庫県立大学 姫路工学キャンパス 土壤汚染状況調査(工場範囲3)



工事名 兵庫県立大学 姫路工学キャンパス
土壤汚染状況調査 (工事範囲3)
工種 土壤調査(深度調査)
測点 D1-4b
施工前
エヌエス環境株式会社 2026/03/04

工種: 土壤調査(深度調査)
測点: D1-4b

施工前



工事名 兵庫県立大学 姫路工学キャンパス
土壤汚染状況調査 (工事範囲3)
工種 土壤調査(深度調査)
測点 D1-4b
施工中
エヌエス環境株式会社 2026/03/04

工種: 土壤調査(深度調査)
測点: D1-4b

施工中



工事名 兵庫県立大学 姫路工学キャンパス
土壤汚染状況調査 (工事範囲3)
工種 土壤調査(深度調査)
測点 D1-4b
残尺=0.45m
エヌエス環境株式会社 2026/03/04

工種: 土壤調査(深度調査)
測点: D1-4b

残尺=0.45m

兵庫県立大学 姫路工学キャンパス 土壌汚染状況調査(工場範囲3)



工事名	兵庫県立大学 姫路工学キャンパス 土壌汚染状況調査 (工場範囲3)	
地点名	D1-4b	
工種	土壌調査(深度調査)	
被覆厚	m	内訳
全長	5.45m	CT = 1.45m
残尺	0.45m	ロッド = 1.00m × 4本
検尺	5.00m	ロッド = m × 本
2026/03/04 エヌエス環境株式会社		

工種: 土壌調査(深度調査)
 地点名: D1-4b
 被覆厚(m):
 全長(m): 5.45
 CT(m): 1.45
 残尺(m): 0.45
 ロッド(m): 1.00
 ×(本): 4
 検尺(m): 5.00
 ロッド(m):
 ×(本):



工事名	兵庫県立大学 姫路工学キャンパス 土壌汚染状況調査 (工場範囲3)	
工種	土壌調査(深度調査)	
測点	D1-4b	
採取試料		
2026/03/04 エヌエス環境株式会社		

件名	兵庫県立大学 姫路工学キャンパス 土壌汚染状況調査		2026.3.4
孔番	D1-4b	深度	0.00 m ~ 5.00 m
社名	エヌエス環境株式会社		

工種: 土壌調査(深度調査)
 測点: D1-4b
 採取試料



工事名	兵庫県立大学 姫路工学キャンパス 土壌汚染状況調査 (工場範囲3)	
工種	土壌調査(深度調査)	
測点	D1-4b	
施工後		
2026/03/04 エヌエス環境株式会社		

工種: 土壌調査(深度調査)
 測点: D1-4b
 施工後

兵庫県立大学 姫路工学キャンパス 土壌汚染状況調査(工場範囲3)



工種: 土壌調査(深度調査)
測点: D2-1b

施工前



工種: 土壌調査(深度調査)
測点: D2-1b

施工中



工種: 土壌調査(深度調査)
測点: D2-1b

残尺=0.45m

兵庫県立大学 姫路工学キャンパス 土壌汚染状況調査(工場範囲3)



工事名	兵庫県立大学 姫路工学キャンパス 土壌汚染状況調査 (工場範囲3)	
地点名	D2-1b	
工種	土壌調査(深度調査)	
被覆厚	m	内訳
全長	5.45m	CT = 1.45m
残尺	0.45m	ロッド = 1.00m × 4本
検尺	5.00m	ロッド = m × 本
2026/03/04 エスエス環境株式会社		

工種: 土壌調査(深度調査)
 地点名: D2-1b
 被覆厚(m):
 全長(m): 5.45
 CT(m): 1.45
 残尺(m): 0.45
 ロッド(m): 1.00
 ×(本): 4
 検尺(m): 5.00
 ロッド(m):
 ×(本):



工事名	兵庫県立大学 姫路工学キャンパス 土壌汚染状況調査 (工場範囲3)	
工種	土壌調査(深度調査)	
測点	D2-1b	
採取試料		
2026/03/04 エスエス環境株式会社		

工種: 土壌調査(深度調査)
 測点: D2-1b

採取試料



工事名	兵庫県立大学 姫路工学キャンパス 土壌汚染状況調査 (工場範囲3)	
工種	土壌調査(深度調査)	
測点	D2-1b	
施工後		
2026/03/04 エスエス環境株式会社		

工種: 土壌調査(深度調査)
 測点: D2-1b

施工後

4. 柱状图

ボーリング柱状図

調査名 兵庫県立大学 姫路工学キャンパス 工事範囲3における深度調査

ボーリングNo.

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	B1-1b	調査位置	姫路市書写字北垣内2125番2			北緯			
発注機関	兵庫県総務部教育課			調査期間	2026年3月3日～2026年3月3日		東経		
調査業者名	エヌエス環境株式会社	主任技師	岸岡 稚青	現場代理人	佐藤 一弥	コア鑑定者	千田 博英	ボーリング責任者	千田 博英
孔口標高	KBM +3.29m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機 YBM EC03V-3 エンジン
総掘進長	5.00m	度						ハンマー 落下用具 ポンプ	

標尺	標高	層厚	深度	柱状図	土質区分	色	相対密度	相対稠度	記号	孔内水位 m / 測定月日	標準貫入試験					原位置試験 深度 m	試験名 および結果	試料採取 深度 m	採取 番号	採取 方法	室内試験 ()	掘進 月日	
											10cm毎の 打撃回数			打撃回数 / 貫入量 cm	N 値 - ○ -								
											0	10	20										
	2.98	0.30	0.30		盛土(砂礫)	褐灰			3-30mm亜角礫主 マトリックスは細中粗砂主 含水小位 臭気なし														
	2.68	0.30	0.60		盛土(粘土混じり砂)	褐灰			3-30mm亜角礫・及び粘土分 全体に混じる細中粗砂主 含水小位 臭気なし														
1	1.49	1.20	1.50		盛土(砂礫)	灰			3-10mmMAX80mm亜角礫主 Coガラの堆積物を呈す マトリックスは細中粗砂主 含水大位 臭気なし														
2	0.74	0.75	2.55		盛土(粘土混じり砂)	褐灰			3-30mm亜角礫全体に混じる 粘土分全体に含む 細中粗砂主 含水小位 臭気なし														
3					粘土混じり砂	褐灰			粘土分全体に混じる 微-細砂主 含水小位 臭気なし														
4	-1.01	1.75	4.30		軟岩	褐灰			軟岩の強風化帯と思われる 風化著しく進行し 礫・粘土混じり砂状を呈す 臭気なし														
	-1.71	0.70	5.00																				

深度調査

(その2)

5. 計量證明書



濃度計量証明書

No. WS250651-1/2

2026年3月26日

兵庫県 殿

計量証明事業登録 大阪府 第10286号
エヌ エス 環境株式会社
〒105-0011 東京都港区芝公園1-2-9
大阪 三井 大阪分析センター
〒564-0062 大阪府吹田市垂水町2-36-27
電話 (06) 6310-6222 (代)
環境計量士(濃度) 三井 栄
環境計量士(濃度関係)登録番号 第10659号

貴依頼による計量の結果を下記のとおり証明致します。

- 件名 兵庫県立大学 姫路工学キャンパス
土壌汚染状況調査(工事範囲3)
- 採取年月日 2026年 2月 27日 から 2026年 3月 5日
- 計量の対象 土壌
- 計量の方法 【溶出量調査】
砒素及びその化合物：JIS K 0102-3 20.5(2022)
ふっ素及びその化合物：JIS K 0102-2 5.2及び5.4(2022)
- 計量の結果 結果一覧表のとおり (No.WS250651-2/2)
- 備考
 - 検液作成方法(溶出量調査)：平成15年環告第18号に定める方法
 - 不検出とは、定量下限値を下回っていることを示す。





6. 試料採取記録

深度調査 土壌試料採取記録

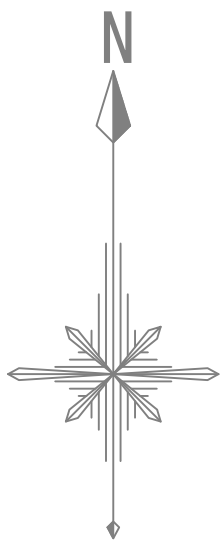
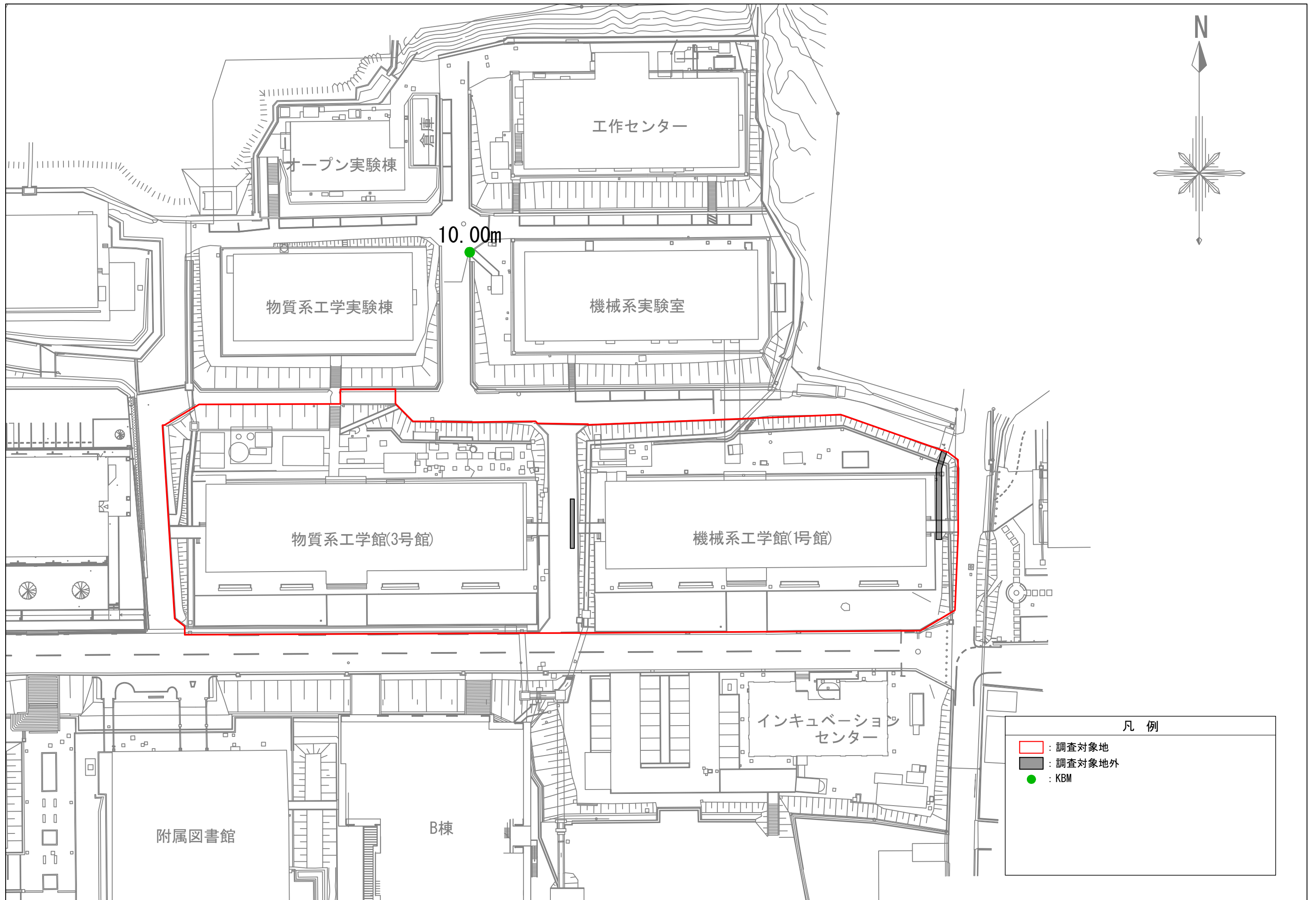
件名：兵庫県立大学 姫路工学キャンパス 土壌汚染状況調査(工事範囲3)

担当者：岸岡 稚青

地点名	採取日	採取時間	採取深度 (基準面下 m)	土質区分	色調	臭気	備考
A1-3b	2026/2/27	14:15	-0.75m	礫・粘土混じり砂	褐灰	-	
A1-8b	2026/3/5	10:23	-2.25m	礫混じり粘土質砂	褐灰	-	
			-2.50m				
			-2.75m				
A1-9b	2026/2/27	10:26	-0.75m	礫混じり粘土質砂	褐灰	-	
B1-1b	2026/3/3	10:41	-0.75m	砂礫	灰	-	
C1-5b	2026/3/4	10:23	-2.25m	礫混じり粘土質砂	褐灰	-	
			-2.50m				
			-2.75m				
D1-4b	2026/3/4	13:23	-2.75m	粘土質砂	褐灰	-	
D2-1b	2026/3/4	14:44	-0.75m	礫混じり粘土質砂	褐灰	-	

その他

7. KBM 位置図



凡例

- : 調査対象地
- : 調査対象地外
- : KBM